

平成28年度当初予算（案）のポイント

当初予算(案)の特徴 — おかやま躍動予算 —

平成28年度は、人口減少社会の到来が見込まれる中、都市の活力を生み出し、さらなる岡山市の発展を実現するための「岡山市第六次総合計画長期構想（案）」に基づく都市づくりをスタートする初年度です。

このため、平成28年度当初予算（案）は、

○経済・交流

地域経済の活性化 交通ネットワークの構築 文化芸術による賑わいの創出

○子育て・教育

○健康・福祉

など、将来都市像を実現するための取組を着実に前進させ、未来へ躍動する岡山市の実現に向けた第一歩となる施策に重点を置いて編成しています。

当初予算(案)の規模

①会計別予算額

(単位：億円)

区 分	H28 当初予算(案)	H27 当初予算	増減額	対前年度比
一 般 会 計	2,843	2,848	▲ 5	▲ 0.2%
特 別 会 計	1,936	1,932	4	0.2%
事 業 会 計	718	697	21	3.0%
合 計	5,497	5,476	21	0.4%

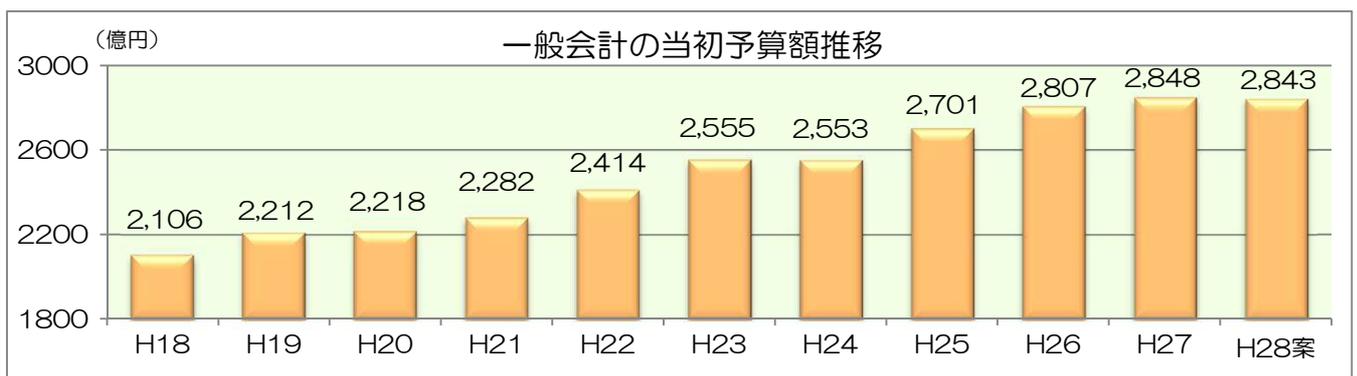
●一般会計、特別会計、事業会計を合わせた総額は6年連続の増加。

●一般会計は、前年度比で5億円、0.2%の減で、4年ぶりの減少。

<参考>平成27年度補正予算への前倒し(予定)分を含めた一般会計の総額

H28 2,870億円(27億円) H27 2,854億円(6億円) → 16億円、0.6%の増

※ () 数字は前倒し(予定)分



②歳入・歳出予算の増減主なもの（一般会計）

[歳入]

■ 市税	+10億円	景気回復による個人市民税の増など
■ 国・県支出金	+44億円	臨時福祉給付金、子ども・子育て新制度による増など
■ 市債	▲77億円	普通建設事業費、臨時財政対策債の減少による減など

[歳出]

■ 扶助費	+57億円	臨時福祉給付金、子ども医療費の負担軽減による増など
■ 繰出金	+15億円	高齢化等に伴う保健医療特別会計への繰出金の増など
■ 普通建設事業費	▲88億円	岡山操車場跡地の用地再取得費の減など
■ 公債費	▲16億円	市債の借入抑制による減など

躍動する岡山へ ～文化芸術でつながる人とまち～

岡山芸術交流 Okayama Art Summit 2016

会期 10月9日(日)～11月27日(日)



旧城下町を最先端のアートによる
魅力と交流でDevelopment(開発)する

- 世界的な現代芸術家を招聘
- 17か国28作家の作品が集積
- 岡山城周辺の歴史文化ゾーン内8会場で、歩いて回れるコンパクトな開催

おかやま国際音楽祭2016

会期 10月1日(土)～10月16日(日)



10年の集大成
水と緑の都市空間を音楽に染め、誰もが主役になれる祭典

- 吉備津彦神社など地域資源を活用したコンサートを複数の会場で開催
 - 市民が企画運営する野外コンサートを開催
 - 市民が街角で演奏するステージをウィークデーに5日間連続開催
- ※下石井3DAYS(野外コンサート)を核とした音楽事業を展開

アートと音で人をつなぐ

連携による誘客

瀬戸内国際芸術祭(秋会期)

会期:10月8日～11月6日

交流を促進する各事業

岡山城

- ・秋のおかやま桃太郎まつり
- ・秋の烏城灯源郷

石山公園(烏城公園)

- ・オープンカフェ
- ・2016マーチング・イン・オカヤマ

西川緑道公園

- ・ハーモニーフェスタ IN 西川
- ・西川パフォーマー事業

市民の文化活動を支援

第54回岡山市芸術祭

会期:10月1日～12月31日

未入園児童・待機児童解消に向けた対応

現 状

	H25. 4. 1	H26. 4. 1	H27. 4. 1	H27. 10. 1	H28. 4. 1
定員数	13,567	13,637	14,047	14,047	14,574
(増減)	—	70	410	0	527
入園申込児童数	15,324	15,386	15,453	16,177	16,300
(増減)	—	62	67	724	123
入園児童数	14,338	14,431	14,515	15,087	—
(増減)	—	93	84	572	—
未入園児童数	986	955	938	1,090	—
(増減)	—	▲ 31	▲ 17	152	—
未入園児童のうち待機児童数	0	0	134	128	—
(増減)	—	0	134	▲ 6	—

※H28. 4. 1の入園申込児童数は、H28. 1末現在の概数

- ・ H27. 10. 1の未入園児童数 1,090人
- ・ H27. 10. 1からH28. 4. 1までの入園申込児童数の増加分 123人
H28. 4. 1時点の未入園児童数(見込)
(1,090人 + 123人) - 527人 = 686人

具体的な取組

事業内容	H27年度整備	H28年度整備
	H28. 4. 1	H29. 4. 1
私立保育所の整備	405	339(339)
小規模保育事業の整備	55	152(38)
事業所内保育事業の整備	67	152(-)
私立幼稚園の移行	0	60(-)
計	527	703(377)

※緑字はH27年度整備数

※青字は目標値

※カッコ内は確定値

岡山市学力アセス

岡山市独自の学力調査を実施し、問題作成から結果分析まで行い授業を改善

☞H28は算数(小学校4・5年生)、数学(中学校2年生)でプレ実施

☞H29から国語、社会、理科、英語(中学)も実施

対象:小学校4・5年生、中学校1・2年生

○学力の現状

全国学力・学習状況調査で小・中学校ともに全国平均を下回る。

○課題

教科(国語、算数・数学、理科)の無解答率が高い。

⇒選択式、短答式、記述式の問題のうち、特に記述式

○効果

①2か年連続で調査することにより、弱点を翌年の問題作成に活用

②記述問題で解答過程も評価し、解き方も評価の対象に

③問題を作成・分析する教員の指導力自体も向上



学びの充実

わかりやすい授業

教科研究の充実

人材育成

学校支援ボランティア

学生ボランティアの組織化で学校園への支援を強化

連絡協議会

・岡山市 ・幼小中 ・大学等 ・学生 ・保護者

市教委

- ・協議の集約
- ・学生向け研修
- ・グループ同士の交流会の実施
- ・有益な活動事例の共有

重点事項

- 学力向上に向けた取組
 - ・授業中、つまづきを見つけ個別指導
 - ・放課後の補充学習の支援
 - ・特別な支援を必要とする子どもへの丁寧なかかわり
- 問題行動及び不登校の防止に向けた取組
 - ・一緒に遊ぶ、悩みを聞く、先輩として相談にのる など

学校園

- 活動分野の拡大
 - ・朝学習での読み聞かせ
 - ・朝の会、下校指導、清掃指導、健康診断の補助
 - ・大会や試合の運営の補助 など

学生グループ

(例) 同じ大学の学生

- 子どもの状況にあったボランティアを探す
- 経験者や先輩などから経験を受け継ぐ
- 支援に行けなくなった学生の代わりを探す
- 任された活動を企画・準備する など

大学等

- ・学生グループの立ち上げや安定的な運営の支援

ここが新しい!

③グループ内で人の調整

④受託の連絡

⑥報告

②依頼の連絡

モデル校を中心に実施

ここが新しい!

⑤支援

①支援内容の協議

伸ばそう健康寿命！

～知って変わって、つながって元気、歩いて楽しいまちづくり～

知って変わる

～健康状態を知って、生活習慣を見直す～

- 生活習慣の改善・生活習慣病予防
 - ・個人のライフスタイルを改善
 - ・スーパー食育スクール事業における成果の普及
 - ・かるうま減塩プロジェクト【新規】
- 介護予防の推進
 - ・高齢者の状態に応じた介護予防の実施

地域でつながる

～地域でのつながりをつくる～

- 生涯現役社会づくりの推進
 - ・生涯現役社会づくり
 - ・地産地消で生きがいづくり、食文化伝承
 - ・農村地域における協働活動等への支援
- 市民協働推進モデルの構築
 - ・NPO等との協働による社会課題の解決
(テーマ:「健康寿命の延伸」)
- まちなええとこ発見と健康づくり
 - ・「ええとこ発見図」を活用したウォーキング大会の開催

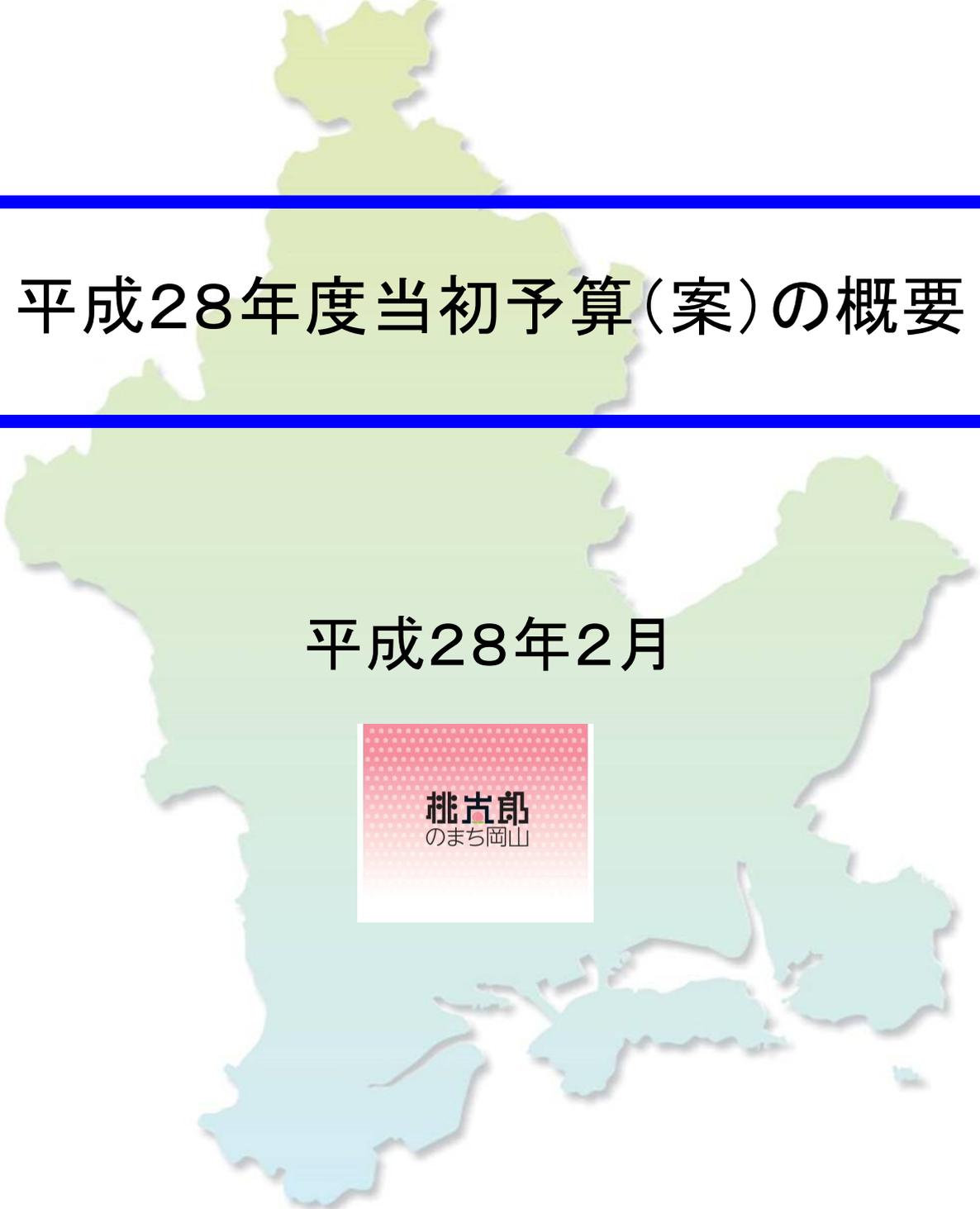
楽しく歩く・運動する

～歩いて楽しいまちをつくる～

- 運動習慣のきっかけづくり
 - ・歩く・もらえる・若返る
健幸ポイントプロジェクト
 - ・70万人市民トリオでウォーク
 - ・「トップアスリートに学ぼう」
ランニング講座
- 歩きやすい環境づくり
 - ・岡山の歴史・文化に親しむ
 - ・桃太郎さんの朝ごはんプロジェクト
【新規】
- 回遊性の向上
 - ・まちなか健康スタンプラリー

健康づくりの基盤

- 「健康市民おかやま21(第2次)」による健康づくり活動の推進
- がん対策・禁煙対策
- 各種健康診査
- 栄養・食生活改善
- ヘルスケア産業の創出・育成委託事業【新規】
- こころの健康づくり
- 歯と口腔の健康支援



平成28年度当初予算(案)の概要

平成28年2月

桃太郎
のまち岡山



岡山市
OKAYAMA CITY

目 次

平成28年度当初予算(案)の概要

当初予算(案)の特徴 ―おかやま躍動予算―	1
当初予算(案)の規模	2

歳入・歳出の内訳(一般会計)

歳入予算(案)の内訳	3
歳出予算(案)[性質別]の内訳	4
歳出予算(案)[目的別]の内訳	5

行財政改革の推進

事務事業チェック	6
市債残高の推移	7

平成28年度当初予算(案)における主要施策・事業

I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

1 地域経済活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり	8
2 コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり	12
3 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり	15

II 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

4 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり	18
5 つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり	21
6 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり	24

III 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

7 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり	25
8 地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり	29
9 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり	32

3つの都市像実現のベースとなる都市経営の視点

10 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営	34
-----------------------------------	----

「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に係る取組

「社会保障と税の一体改革」の影響

平成28年度当初予算編成過程の見える化

国の補正予算等に伴う前倒し実施予定事業一覧

参考

一般会計歳入・歳出	41
特別会計・事業会計	42
予算性質別経費	43
基金及び地方債現在高の状況	44

※数値については、四捨五入を原則とし、端数調整を行っています。

平成28年度当初予算(案)の概要

当初予算(案)の特徴

— おかやま躍動予算 —

平成28年度は、人口減少社会の到来が見込まれる中、都市の活力を生み出し、さらなる岡山市の発展を実現するための「岡山市第六次総合計画長期構想(案)」に基づく都市づくりをスタートする初年度です。

このため、平成28年度当初予算(案)は、

○経済・交流

地域経済の活性化

交通ネットワークの構築

文化芸術による賑わいの創出

○子育て・教育

○健康・福祉

など、将来都市像を実現するための取組を着実に前進させ、未来へ躍動する岡山市の実現に向けた第一歩となる施策に重点を置いて編成しています。



当初予算(案)の規模

- 一般会計、特別会計、事業会計を合わせた総額は5,497億円で、6年連続の増加(対前年度比21億円、0.4%の増)。
- 一般会計は、前年度比で5億円の減(△0.2%)。
国補正予算等に伴う平成27年度予算への前倒し予定分27億円を含めると2,870億円となり、対前年度比で16億円、0.6%の増。

(単位:百万円)

区 分	平成28年度 当初予算(案)	平成27年度 当初予算	増 減 額	対前年度比
一 般 会 計	284,324	284,806	△482	△ 0.2%
特 別 会 計	193,591	193,165	426	0.2%
事 業 会 計	71,769	69,653	2,116	3.0%
合 計	549,684	547,624	2,060	0.4%

<参考>

前倒し分を含めた当初予算規模の対前年度比較(一般会計)

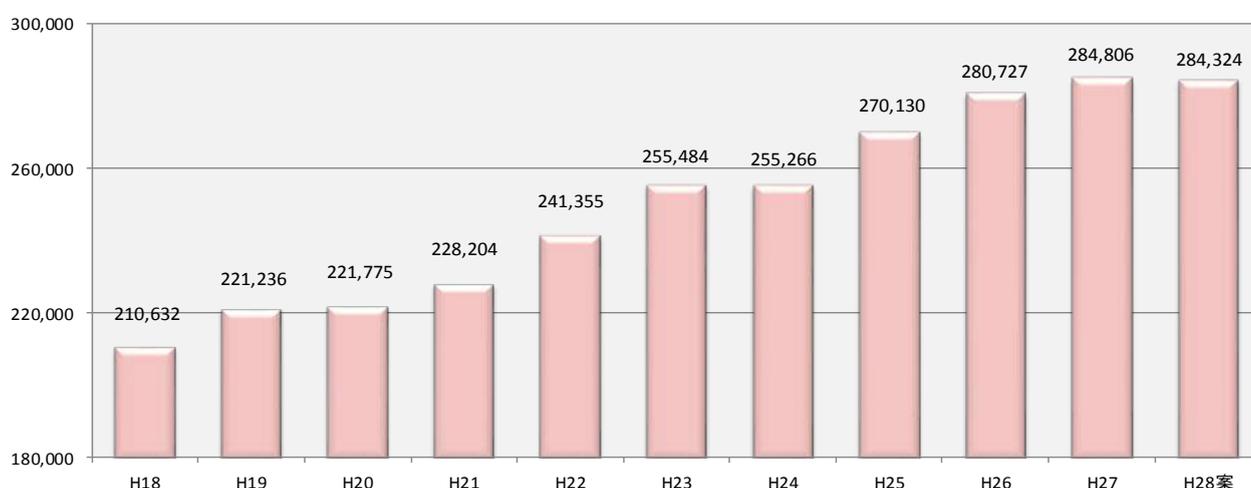
(単位:百万円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増 減 額	対前年度比
当 初 予 算 ①	284,324	284,806	△482	△ 0.2%
前年度前倒し実施分※ ②	2,734	634	2,100	331.2%
総事業費(①+②)	287,058	285,440	1,618	0.6%

※平成28年度は実施予定分。

(百万円)

一般会計の当初予算額推移



※H19は、6月補正肉付予算後数値

歳入・歳出予算の内訳(一般会計)

歳入予算(案)の内訳

- 市税は、景気の回復による個人市民税、家屋の新增築による固定資産税の増加などにより 対前年度比で10億円の増(+0.9%)
- 地方譲与税・交付金は、地方消費税交付金の増加などにより 同16億円の増(+7.1%)
- 臨時財政対策債を含む実質的な地方交付税は税收等の増加などにより 同22億円の減(△5.1%)
- 国・県支出金は、社会保障関係費に係る国庫支出金や、子ども・子育て支援新制度に係る県支出金の増加などにより 同44億円の増(+7.0%)
- 市債は、普通建設事業費や、臨時財政対策債の減少などにより 同77億円の減(△17.9%)

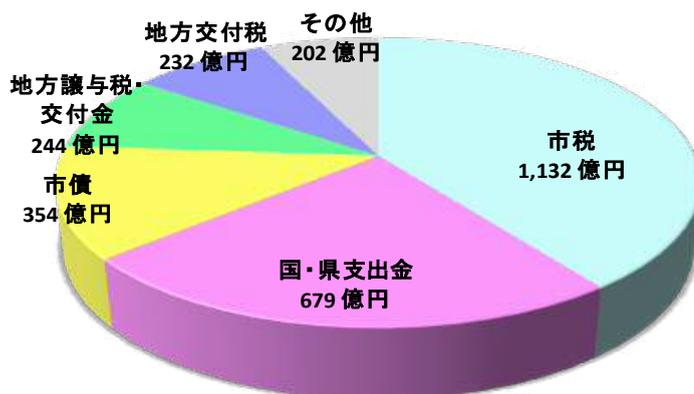
【その他の項目】

- 財政調整基金繰入金は、前年度比で7億円の増(+17.9%)
 <H28 46億円 H27 39億円>
- 公共施設等整備基金繰入金は、前年度比で10億円の減(△50.0%)
 <H28 10億円 H27 20億円>

(単位:百万円)

区分	平成28年度	構成比	平成27年度	構成比	増減額	対前年度比
市税	113,167	39.8%	112,141	39.4%	1,026	0.9%
地方譲与税・交付金	24,416	8.6%	22,793	8.0%	1,623	7.1%
地方交付税	23,200	8.2%	23,000	8.1%	200	0.9%
国・県支出金	67,928	23.9%	63,493	22.3%	4,435	7.0%
市債	35,361	12.4%	43,083	15.1%	△7,722	△17.9%
うち臨時財政対策債	17,600	6.2%	20,000	7.0%	△2,400	△12.0%
うち上記以外	17,761	6.2%	23,083	8.1%	△5,322	△23.1%
小計	264,072	92.9%	264,510	92.9%	△438	△0.2%
その他	20,252	7.1%	20,296	7.1%	△44	△0.2%
うち財源調整基金繰入金	5,600	2.0%	5,910	2.1%	△310	△5.2%
合計	284,324	100.0%	284,806	100.0%	△482	△0.2%

平成28年度当初予算(案) 歳入総額 2,843億円



歳出予算(案)[性質別]の内訳

【増要因】

- 扶助費は、臨時福祉給付金の増や子ども医療費の負担軽減などにより
対前年度比で57億円の増(+7.7%)
- 補助費等は、国営土地改良事業負担金の皆増、児童クラブ補助金の拡充などにより
同33億円の増(+17.2%)
- 繰出金は、高齢化等に伴う保険医療特別会計への繰出金の増加により
同15億円の増(+6.0%)

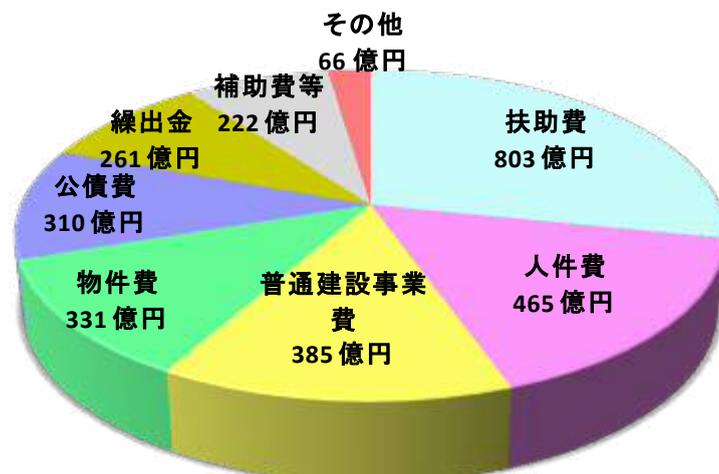
【減要因】

- 普通建設事業費は、岡山操車場跡地(健康・医療・福祉系施設導入区域)の用地再取得費、学校園耐震化事業の前倒し実施などにより 同88億円の減(△18.7%)
- 公債費は、市債の借入れ抑制などにより 同16億円の減(△4.8%)

(単位:百万円)

区分		平成28年度	構成比	平成27年度	構成比	増減額	対前年度比
義務的経費	人件費	46,531	16.4%	46,252	16.2%	279	0.6%
	扶助費	80,255	28.2%	74,533	26.2%	5,722	7.7%
	公債費	31,014	10.9%	32,581	11.4%	△1,567	△4.8%
	小計	157,800	55.5%	153,366	53.8%	4,434	2.9%
投資的経費	普通建設事業費	38,481	13.6%	47,315	16.6%	△8,834	△18.7%
	災害復旧事業費	—	0.0%	—	0.0%	0	—
	小計	38,481	13.6%	47,315	16.6%	△8,834	△18.7%
その他の経費	物件費	33,109	11.6%	33,635	11.8%	△526	△1.6%
	補助費等	22,214	7.8%	18,957	6.7%	3,257	17.2%
	繰出金	26,109	9.2%	24,635	8.6%	1,474	6.0%
	その他	6,611	2.3%	6,898	2.5%	△287	△4.2%
	小計	88,043	30.9%	84,125	29.6%	3,918	4.7%
合計	284,324	100.0%	284,806	100.0%	△482	△0.2%	

平成28年度当初予算(案)歳出総額 2,843億円

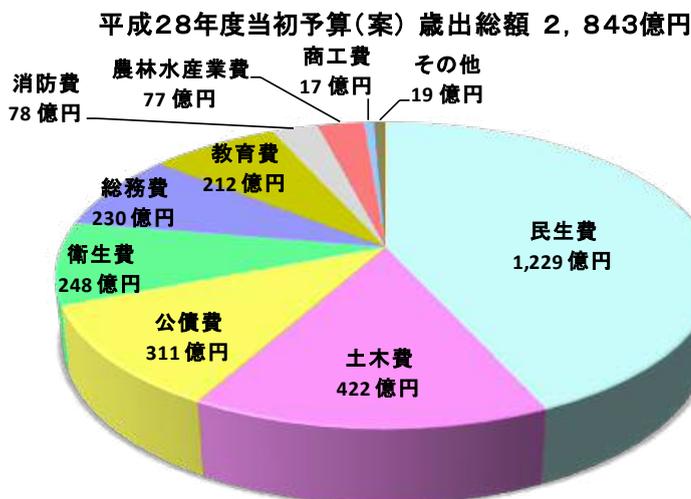


歳出予算(案)[目的別]の内訳

- 民生費は、
 - ・臨時福祉給付金、高齢化等に伴う保険医療特別会計への繰出金の増加などにより
対前年度比で83億円の増(+7.2%)
- 土木費は、
 - ・岡山操車場跡地整備推進事業(総合公園区域)の用地再取得費の減などにより
同23億円の減(△5.1%)
- 公債費は、
 - ・市債の借入れ抑制などにより
同16億円の減(△4.8%)
- 衛生費は、
 - ・岡山操車場跡地整備推進事業(健康・医療・福祉系施設導入区域)の用地再取得費の減などにより
同22億円の減(△8.0%)
- 教育費は、
 - ・学校耐震改修整備事業の前倒し実施やスポーツ振興関係費の総務費への移管による減などにより
同47億円の減(△18.2%)
- 農林水産業費は、
 - ・国営土地改良事業負担金の皆増などにより
同13億円の増(+21.1%)

(単位:百万円)

款 別	平成28年度	構成比	平成27年度	構成比	増 減 額	対前年度比
民生費	122,913	43.2%	114,609	40.2%	8,304	7.2%
土木費	42,234	14.9%	44,507	15.6%	△ 2,273	△5.1%
公債費	31,052	10.9%	32,619	11.4%	△ 1,567	△4.8%
衛生費	24,779	8.7%	26,943	9.5%	△ 2,164	△8.0%
総務費	23,078	8.1%	21,417	7.5%	1,661	7.8%
教育費	21,234	7.5%	25,967	9.1%	△ 4,733	△18.2%
消防費	7,823	2.8%	9,316	3.3%	△ 1,493	△16.0%
農林水産業費	7,676	2.7%	6,338	2.2%	1,338	21.1%
商工費	1,669	0.6%	1,394	0.5%	275	19.7%
その他	1,866	0.6%	1,696	0.7%	170	10.0%
合 計	284,324	100.0%	284,806	100.0%	△ 482	△0.2%



行財政改革の推進

＜事務事業チェック＞

- 平成28年度当初予算(案)では、約9億円の財政効果を反映
(事業費ベース)

「新岡山市行財政改革大綱」に基づき、事務事業の見直し、民間活力の活用、収入増につながる取組等を行い、平成28年度当初予算(案)では、約9億円(事業費ベース)の財政効果を反映。

見直した主なもの

業務の見直しや収入増につながる取組(406百万円)

●事務事業の見直し

- ・電気購入に係る入札(80)

●民間活力の活用

- ・粗大事業所業務の民間委託(70)
- ・当新田環境センターの長期包括業務委託(52)

●増収施策の取組

- ・未利用地の売却(189)
- ・貯金事務センター跡地の有効活用(9)
- ・自動販売機の公募による設置(3)
- ・民間事業者による駐輪場整備(2)
- ・納税通知書発送用封筒への広告掲載(1)

予算編成時の不用額見直しなど(471百万円)

- ・不用額の見直しなど(471)

財政効果額
約9億円
(事業費ベース)

市債残高の推移

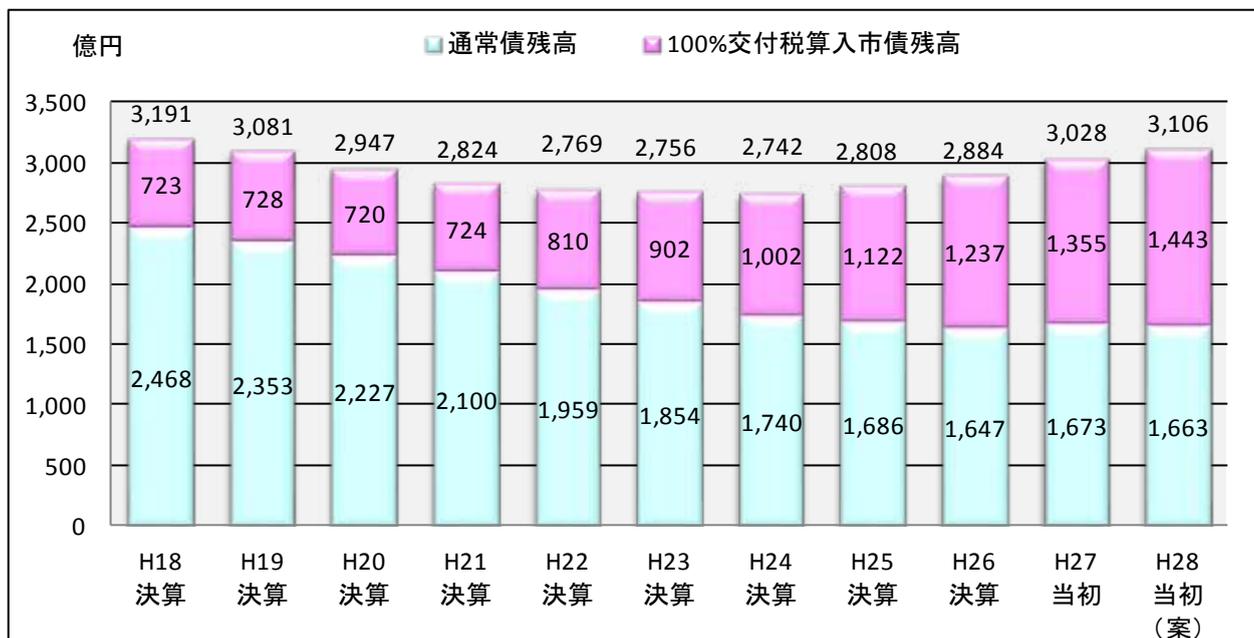
- 一般会計の市債残高は、臨時財政対策債などにより増加傾向だが、通常分については、操車場跡地整備推進事業(用地再取得)の減及び学校耐震改修整備事業の平成27年度2月補正予算への前倒し実施による借入の減などにより減少。

(単位:百万円)

区分	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 当初	H28 当初	増減額 H28-H27
元金償還金	(23,027)	(21,904)	(21,097)	(20,406)	(18,838)	(△1,568)
	32,461	31,355	30,211	28,721	27,475	△1,246
借入額	(11,625)	(16,496)	(17,196)	(23,083)	(17,760)	(△5,323)
	31,062	38,023	37,786	43,083	35,360	△7,723
年度末残高	(173,976)	(168,568)	(164,667)	(167,344)	(166,266)	(△1,078)
	274,152	280,820	288,395	302,757	310,642	7,885

(注1) ()内は、臨時財政対策債、減税補てん債等100%交付税算入される起債を除いたもの。

(注2) 元金償還金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く



I 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

1 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり

H28予算額()書きは一般財源

● 産業振興アクションプラン(仮称) **新規** 3百万円(3百万円)

新たな総合計画を踏まえ、具体的な行動指針を定め、計画的に施策・事業を実施するための産業振興アクションプラン(仮称)を策定します。

● 企業立地の推進 **97百万円(97百万円)** 地方創生

中四国の結節点としての本市の優位性をいかして企業誘致を促進し、雇用の継続的安定につなげます。

■ 空港南産業団地整備事業 **新規** 25百万円(25百万円)

県の元第2リサーチパーク用地を活用し、県と共同で産業団地を開発することで企業ニーズに合った用地を確保することにより、企業集積による経済活性化と新たな雇用の確保、企業と人の地方移転を促進します。平成28年度は下水道設計・調査を行います。

■ 企業立地推進事業 72百万円(72百万円)

・本社・中四国支店等立地推進事業 **拡充** 5百万円(5百万円)

本社、本社機能(総務、経理、研修、研究開発部門等)、中四国支店等広域営業拠点等を立地する企業に対し補助金を交付します。

市内本社企業についても新規雇用数に応じ奨励金を交付します。

- ①市外にある本社機能の市内移転
- ②市内にある本社の機能を拡充・新設

・都市型サービス産業推進事業 **拡充**

15百万円(15百万円)

コールセンター等の立地企業へ補助金を交付します。2回目以降の増設等も補助対象とします。

・企業立地促進奨励金 46百万円(46百万円) など



● ヘルスケア産業創出・育成事業 6百万円(6百万円) 地方創生

健康で心豊かな暮らしをサポートする機器、サービス、システム等のヘルスケア産業において、異業種交流や消費者ニーズのフィードバック等を通じて、常に新しい事業の創出や商品開発を目指します。

・試作機器開発補助金 5百万円(5百万円)

● 商工業近代化指導事業 65百万円(65百万円)

中小企業向け各種セミナーの開催、人材育成研修の開催及び設備投資に対する助成等を行い、中小企業活性化及び起業支援による市内企業の増加を図ります。

● 地場産業振興事業 36百万円(36百万円)

市内中小ものづくり企業等の新規取引先開拓や販路拡大、優れた技術力等をいかした付加価値が高く競争力のある新たな商品・試作開発やビジネス創出を支援します。

- ・オンリーワン企業育成支援事業 4.5百万円(4.5百万円)
- ・販路拡張助成事業 16百万円(16百万円)
- ・戦略的販路開拓・ハンズオン支援事業
 - 見本市等出展支援事業 2.5百万円(2.5百万円)
 - ブランド力向上支援事業 3百万円(3百万円) など

● 中小企業融資制度資金貸付事業 42百万円(42百万円)

市内中小企業に対する事業資金の調達が円滑に行われるように融資制度を運営し、企業の資金繰りを支援していくことで本市中小企業の健全な育成・発展を図ります。

- ・小規模事業者経営改善資金融資(マル経融資)の利子補給を2年間延長します。

● 雇用対策等事業 19百万円(19百万円)

人材確保に苦慮している市内企業の情報発信を支援し、市内中小企業等を知る機会を設け、市内企業と新規学卒者等の就職マッチングを図ります。

- ・ジョブマッチング事業 **新規** 5百万円(5百万円)
若年求職者に市内中小企業等における就業体験の機会等を提供します。
- ・UIターンを意識した合同企業説明会 7百万円(7百万円)
- ・マザーズハローワーク出張相談開催事業 **拡充** 0.2百万円(0.2百万円)
ハローワークと共同で出張相談を実施します。
新たに西、北ふれあいセンター等で開催します。 など



● 商業振興事業 36百万円(36百万円)

商店街の特徴的な、時流に乗った取組を支援し、魅力の向上による誘客を図ります。

- ・商店街連携促進事業 **新規** 8百万円(8百万円)
NPO法人等と連携し実施する商店街活性化事業に対し助成します。

● 魅力ある中心市街地の創出

15億56百万円(8億円)

- まちなかをめぐろう 1億49百万円(1億49百万円)
 - ・回遊性向上社会実験(県庁通り・西川緑道公園筋) 97百万円(97百万円)
 - ・西川魅力にぎわいづくり 29百万円(29百万円)
 - ・まちなか公園マネジメント 10百万円(10百万円)(14ページ参照) など

- 自転車・公共交通に乗ろう 6億23百万円(2億72百万円)
 - ・「ももちゃり」運用・自転車利用環境の向上 5億80百万円(2億52百万円)
 - ・駅前広場への路面電車乗り入れ検討 43百万円(20百万円)(以上13ページ参照)

- **魅力あふれる商店街** 24百万円(24百万円) 地方創生
 ・商店街のやる気のあと押し(商業振興事業 商店街活性化支援事業)(9ページ参照)

- **岡山の歴史や文化に触れる** 3億62百万円(2億66百万円)
 ・岡山芸術交流 Okayama Art Summit 2016 新規 1億80百万円(1億円)
 ・岡山の歴史・文化に親しむ事業 13百万円(13百万円)(以上15ページ参照)
 ・都心創生まちづくり構想推進事業 38百万円(38百万円) など

- **まちなかに住む** 3億98百万円(89百万円)
 ・市街地再開発事業(中山下一丁目1番地区) 2億48百万円(12百万円)
 ・市街地再開発事業(錦町7番地区) 新規 1億44百万円(72百万円)
 ・高齢者向け地域優良賃貸住宅(サービス付き)事業 拡充 2百万円(1百万円)(以上14ページ参照)

- **観光アクションプラン(仮称)** 新規 3百万円(3百万円)
 新たな総合計画を踏まえ、具体的な行動指針を定め、計画的に施策・事業を実施するための観光アクションプラン(仮称)を策定します。

- **「桃太郎のまち岡山」観光情報発信事業** 23百万円(23百万円) 地方創生
 岡山の都市イメージとして定着している「桃太郎」を活用し、観光客の満足度や話題性という面でインパクトをあたえるため、「桃太郎」を健康で元気な象徴として創造・発信します。
 ・桃太郎さんの朝ごはん 拡充 10百万円(10百万円)
 朝ごはんマルシェの実施や、朝ごはん提供店舗の販促ツールの開発を行います。
 ・桃太郎グッズの開発 新規 3百万円(3百万円)
 ・デスティネーションキャンペーンへの参画
 3.5百万円(3.5百万円) など



- **おかやま観光事業** 1億76百万円(1億76百万円) 地方創生
 広域観光のベース宿泊地としての利便性を生かし、宿泊・滞在の魅力をさらに高め、「岡山から始まる瀬戸内の旅」をPRすることにより、宿泊客の増加や滞在時間の延長を図ります。
 ・幻想庭園と連携した烏城灯源郷の開催等 拡充 52.5百万円(52.5百万円)
 JRデスティネーションキャンペーンに合わせて春開催を追加し、後樂園との動線を強化します。
 ・岡山城天守閣のトイレ改修 18.5百万円(18.5百万円)
 ・岡山城天守閣のこれからの在り方調査 新規 6百万円(6百万円)
 入場者・文化団体・経済団体等のアンケート調査等と分析、他城の事例調査・分析などを行います。
 ・桃太郎まつりの開催 90.5百万円(90.5百万円) など

- **外国人誘客・国際観光振興事業** 50百万円(50百万円) 地方創生
 ・海外プロモーション 拡充 16百万円(16百万円)
 マレーシアで物産フェア及び瀬戸内4市連携での現地セミナー等を開催します。また、広島県等と連携したフランスの旅行展への出展、インターネットを活用した広告プロモーションを実施します。
 ・外国人観光客の誘致促進 拡充 18百万円(18百万円)
 個人観光客をターゲットとする宿泊助成制度を創設します。
 ・受入体制の整備等 16百万円(16百万円)
 ・おかやま歴史のまちしるべの設置 拡充 6百万円(6百万円) など
 藩、陣屋町などのあった主要な地域に統一デザインの看板を設置します。

● **日中韓3か国地方政府交流会議開催事業** **新規** 18百万円(18百万円)

歴史的にも地理的にも密接な関係にある日本、中国、韓国の3か国地方政府間の国際交流会議を開催し、本市の観光資源や魅力を国内外に情報発信します。

● **コンベンション誘致対策事業** **拡充** 33百万円(7百万円) 地方創生

岡山市、おかやま観光コンベンション協会、岡山コンベンションセンターを中心に産学官が連携し、MICEの地元開催を促進するとともに、国際会議の誘致に取り組みます。

・コンベンション開催補助金の対象要件を 宿泊者100人以上 → 50人以上に拡充します。

● **担い手の確保・育成** 1億30百万円(37百万円) 地方創生

若手農業者を登録・紹介するとともに、県外の就農希望者に対する営農開始時の支援の幅を広げること等により、担い手の確保・育成を図ります。

担い手の確保

- ・青年就農給付金 51百万円(－)
- ・若手農業者による体験研修の実施、マッチング **新規** 0.6百万円(0.6百万円)
- ・UIJターン者で園芸農業者に対する初期施設整備支援 **新規** 10百万円(10百万円)

経営の強化

- ・農地中間管理機構を通じた農地集積に対する支援 26百万円(－)
- ・担い手への農地集積に対する支援 **新規** 11百万円(11百万円) など

● **地産地消の推進** 13百万円(13百万円) 地方創生

地場産農産物の周知や販路の拡大を行い、消費拡大による農業者の所得向上や経営の安定化を推進し、「食」による地域の活性化を図ります。



- ・米消費拡大推進事業 2百万円(2百万円)
米粉マップによるPR、米粉&乳製品スタンプラリー など
- ・「おかやまマルシェ」(仮称)の開催 **新規** 10百万円(10百万円)
大規模な農業まつりを今秋開催し、農村部の魅力のPR、農業者と飲食店等とのマッチング等を行います。 など

● **岡山ブランド農作物の育成** **拡充** 6百万円(6百万円) 地方創生

岡山ブランドとして名高い白桃、ブドウ、黄ニラ等の農産物を広くPRし、首都圏等での販路を拡大し、農業者の経営安定を図ります。

- ・東京、大阪でのアグリフェア出展に加え、マレーシアでの物産フェアに出展します。

● **有害鳥獣対策** 88百万円(49百万円)

有害鳥獣による被害を全市民の共通課題として取り組み、被害の防止を図ります。

- ・有害鳥獣捕獲活動奨励補助金 **拡充** 4百万円(4百万円)
- ・有害獣捕獲に対する補助 **拡充** 69百万円(32百万円)
イノシシの捕獲補助単価を増額(シカも同額)、新規にカラス、カワウを補助対象に追加します。
- ・有害獣捕獲柵補助金 **拡充** 3百万円(3百万円)
- ・農作物鳥獣害防止対策事業費補助金 **拡充** 7百万円(6百万円)
- ・鳥獣被害対策実施隊の編成 **新規** 1.4百万円(1.4百万円)など

2 コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり

H28予算額()書きは一般財源

地方創生(一部)

● 周辺地域の振興対策 3億98百万円(1億84百万円)

多様で豊かな自然環境に恵まれた周辺地域では自然との共生を基調にしながら、地域の特性や実情を踏まえた持続可能で住みやすい地域づくりを進めていきます。

- ・中山間・周辺地域活性化検討事業 **拡充** 6百万円(6百万円)
中山間・周辺地域における地域特性をいかしたまちづくりの方向性について、地域が主体的に考えながら検討していきます。
- ・中山間地域住民活動応援事業 **拡充** 21百万円(21百万円)
御津地域及び建部地域の地域おこし協力隊員数を増やします。
- ・生活交通確保事業 **拡充** 66百万円(48百万円)(13ページ参照)
- ・おかやま歴史のまちしるべの設置 **拡充** 6百万円(6百万円)(10ページ参照)
- ・農地・農業用水等の保安全管理の支援(多面的機能支払交付金事業)
1億72百万円(40.5百万円)
- ・農地利用の効率化・高度化の促進(機構の農地集積に対する支援・担い手への規模拡大に対する支援) **拡充** 37百万円(11百万円)(11ページ参照)
- ・農作物鳥獣被害対策の推進 **拡充** 88百万円(49百万円)(11ページ参照)

● 立地適正化計画の策定 12百万円(6百万円)

地方創生

公共交通によりコンパクトでネットワーク化されたまちづくりを推進するため、都市再生特別措置法の改正により創設された立地適正化計画の策定に向けて取り組みます。

● 新たな総合交通計画策定事業 (都市交通戦略推進事業) **新規** 20百万円(9百万円)

新たな総合計画に即して、公共交通を中心にネットワークされた交通体系の構築を目指して、その具体の将来像を定め、実現化方策と実行戦略を示した、交通のランドデザインともいえる新たな総合交通計画を策定します。

● 路面電車の岡山駅前広場への乗り入れ調査・検討(再掲) (都市交通戦略推進事業) 43百万円(20百万円)

市の計画案として提示した平面乗り入れ案について、関係者協議や検討の深度化を図るとともに、駅前広場のあり方について検討していきます。

● 吉備線LRT化検討(都市交通戦略推進事業) 20百万円(9百万円)

岡山市と総社市をつなぐ一宮・高松連携軸の公共交通サービスの向上を図るとともに吉備線沿線のまちづくりを進めるため、吉備線LRT化検討を行います。

● **公共交通利用促進事業**
(都市交通戦略推進事業) **拡充** **23百万円(23百万円)**

岡山駅バスターミナルにおけるバスのりばの方面別化などに合わせて、路線バス等の公共交通の利用を促進するための施策を実施します。

- ・岡山駅デジタルサイネージに方面別化等を反映します。
- ・バス路線網の見える化として統一・単純化した新たな表示を加えて、バス利用者が利用したい路線をわかりやすくします。 など

● **公共交通移動円滑化設備費補助事業**
(都市交通戦略推進事業) **47百万円(47百万円)**

公共交通の利便性向上のため、交通事業者が行う公共交通による移動の円滑化に係る設備費について助成します。

- ・地域公共交通バリア解消(路面電車整備) 15百万円(15百万円)
- ・バスロケーションシステム導入補助金 **新規** 29百万円(29百万円) など

● **超小型モビリティ(都市交通戦略推進事業)** **20百万円(9百万円)**

超小型モビリティ活用による交通課題解決の可能性等について実証実験により検証します。

● **生活交通確保事業(再掲)** **拡充** **66百万円(48百万円)** 地方創生

日常生活に必要な移動手段を確保するため、広域バス路線やコミュニティバスの運用に対する助成を行います。また、公共交通利用が不便な地域における地域の特性にあった新たな生活交通の確保策の検討・導入を行います。

● **自転車先進都市おかやま事業(再掲)**
5億80百万円(2億52百万円)

温暖で雨が少なく、広大な平坦地を有する岡山の特性をいかし、自転車先進都市を目指す取組を推進します。

- ・自転車走行環境の整備 **拡充** 1億84百万円(72百万円)
新たに周辺部からのアクセス軸路線の整備方針を検討します。
- ・サイクリングロード整備 **新規** 18百万円(17百万円)
吉備路自転車道等について、路線現状を調査した上、案内看板等の充実・更新等を行います。
- ・駐輪環境の整備 2億73百万円(57百万円)
- ・駐輪場整備 2億63百万円(47百万円)
- ・民間駐輪場の整備助成 **新規** 10百万円(10百万円)
中心市街地における駐輪場整備促進策として、民間事業者に対し駐輪場整備費の一部を補助する制度を創設します。
- ・「ももちゃり」の運用 41百万円(41百万円)
- ・自転車利用のマナーアップなど **拡充** 82百万円(82百万円)
自転車放置防止指導のほか、自転車ルール・マナー啓発イベントなどを行います。



● **旭川かわまちづくり事業—集う・憩う・楽しむ水辺—「旭川再生！」(再掲)**
50百万円(35百万円)

まちなかの回遊性向上と魅力づくりに向けた取組のひとつとして、旭川さくらみちの桜並木保全のほか、旭川さくらみち歩行空間整備及び石山公園再整備の実施設計等を行います。

● 都市の成長につながる道づくり

26億54百万円(1億88百万円)

中心市街地への流出入交通や通過交通を適切に誘導・分散導入することによる交通混雑の解消等に資する環状線の整備を推進します。

● まちなか公園マネジメント(再掲)

10百万円(10百万円)

公園の特性をいかした利活用を進めるため、パークマネジメントの手法を取り入れた市内主要公園の運営のあり方について検討を進めます。

・石山公園周辺のにぎわい拠点づくりのため、オープンカフェ常設化に向けた社会実験を行います。

● 岡山操車場跡地整備推進事業

19億12百万円(2億10百万円)

・岡山西部総合公園(仮称)整備事業 11億97百万円(1億92百万円)

・市営住宅・社会福祉施設導入区域整備事業 7億円(3百万円)

北長瀬みずほ住座の建替えを行うため、整備事業者の募集及び用地の取得を行います。

・健康・医療・福祉系施設導入区域

15百万円(15百万円)

定期借地権を活用した民間企業への貸し付けによる施設整備を前提に、事業プロポーザルの実施及び事業者の決定を行います。



● 健康みつ21公園(仮称)整備事業 2億1百万円(24百万円)

豊かな自然をいかした健康づくりのための公園として多目的広場や墓地を整備します。

● 福田緑道公園整備事業

72百万円(4百万円)

臨港グリーンアベニューと浦安緑道の接続部分にあたる福田緑道公園を整備します。

● 市街地再開発事業(再掲)

3億96百万円(88百万円)

中心市街地の低未利用地において、にぎわい創出などに寄与する市街地再開発事業への補助を行い、都心の更新を促進します。

・中山下一丁目1番地区 2億48百万円(12百万円)

・錦町7番地区 **新規** 1億44百万円(72百万円)

・まちづくり研究会等への支援 4百万円(4百万円)



● 高齢者向け地域優良賃貸住宅(サービス付き)事業(再掲)

地方創生

拡充

2百万円(1百万円)

中心市街地重点整備エリアに加え、地域拠点エリア・生活拠点エリアなどへ範囲を広げ、より良質な高齢者向け賃貸住宅の整備を誘導します。

・高齢者支援施設を併設する30戸以上の住宅に対し、住宅整備費用の1/5、併設施設整備費用の1/3を補助します。

3 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり

H28予算額()書きは一般財源

● 岡山芸術交流 Okayama Art Summit 2016 (再掲) 地方創生

新規 1億80百万円(1億円)

岡山城及び後樂園を中心とした歴史文化ゾーン(旧城下町エリア)において民間との協働による新たな魅力づくり、岡山市の新たな都市ブランドの構築及び若年層のまちづくりへの参加の促進などを目的に、世界からも注目を集める現代アート展を開催します。

- ・開催日 平成28年10月9日(日)～11月27日(日)
- ・開催場所 岡山城、天神山文化プラザ、後楽館天神校舎跡地等
- ・内容等 アート展示のほか、JRデスティネーションキャンペーンに合わせたプレイベント開催、アーティストトーク など



● おかやま国際音楽祭2016 65百万円(65百万円)

市民が企画に参加し、地域資源を活用しながら、国際色豊かで多彩な音楽文化に身近に触れることができるイベントとして、おかやま国際音楽祭2016を開催します。

● 岡山シンフォニーホールを拠点とした文化の振興 地方創生 26百万円(26百万円) 拡充

演奏・鑑賞の拠点として岡山から全国へ芸術文化を広く発信するため、岡山シンフォニーホール開館25周年記念事業として、「NHK交響楽団岡山公演」、「カメラータ・ザルツブルグ岡山公演」、「記念コンサート」を開催します。

- ・岡山シンフォニーホール文化事業補助金 10百万円(10百万円)
開館25周年記念事業として、各種イベント等を開催します。
- ・岡山フィルハーモニック管弦楽団運営事業負担金 16百万円(16百万円)

● 岡山を形作った光ある歴史・文化資源の発掘・発信事業 地方創生 13百万円(13百万円)

連携中枢都市圏を中心に、テーマ性のある歴史・文化資源等を調査・発掘・データベース化し、テーマに基づくストーリー性のある広域観光資源として再発見し、情報発信を行います。

● 岡山の歴史・文化に親しむ事業(再掲) 20百万円(20百万円) 地方創生

- ・歴史案内看板の設置 13百万円(13百万円)
中心市街地に「おかやま歴史のまちしるべ」を30箇所を設置します。
- ・まちなか回遊アプリの運用 7百万円(7百万円)

● 新しい文化芸術施設整備事業 4百万円(4百万円)

新しい文化芸術施設の整備に係る岡山市の基本計画の内容を再開発の事業計画(案)に反映するため、専門家の支援を受け協議を進めます。

躍動する岡山へ ～文化芸術でつながる人とまち～

秋のイベントスケジュール

10月 11月

芸術文化

岡山芸術交流 Okayama Art Summit 2016 10月9日-11月27日

おかやま国際音楽祭2016 10月1日-10月16日

2016マーチング・イン・オカヤマ 10月9日-10月10日

岡山シンフォニーホール開館25周年記念事業 カメラータ・ザルツブルグ 11月19日

第54回岡山市芸術祭 10月1日-12月31日

シティミュージアム特別展

超巨大古墳の世界 9月16日-10月16日

池田家文庫絵図展 10月29日-11月13日

市民美術展 11月23日-11月27日

瀬戸内国際芸術祭(秋会期) 10月8日-11月6日

まちあるき 賑わい

オープンカフェ社会実験 9月-11月

旧内山下小学校にぎわい創出事業 9月-11月

西川パフォーマー事業 毎週末

県庁通り回遊性向上社会実験 9月下旬から10月中旬の1週間

秋のおかやま桃太郎まつり 10月8日-10月10日

まちなか健康スタンプラリー 日程未定

食をテーマにしたイベント 土日祝日

ハーモニーフェスタ in 西川

10月29日,30日,11月20日

西川フリーウォーク

10月30日,11月20日

備前岡山ええじゃないか2016大誓文払い

11月1日-11月6日の3日間

岡山秋の収穫祭 おかやまマルシェ(仮称)

開催日未定(11月いずれかの日曜日を予定)

おかやまマラソン2016 11月12日,13日

秋の烏城灯源郷 11月18日-11月27日

西川イルミ 11月19日-

コンベンション

第78回全国都市問題会議 10月6日,7日

第18回日中韓3か国地方政府交流会議 開催日未定(10月頃)

第17回介護保険推進全国サミット 10月20日,21日

第3回ESD日本ユース・コンファレンス 10月22日,23日

● 史跡造山古墳群保存整備事業 1億34百万円(46百万円)

国指定史跡造山古墳群の整備を行います。

・千足古墳

墳丘の復元と修景と合わせて石室の見学通路整備を行います。また、平成26年度に作成した石室レプリカを中心に巨大古墳の世界をテーマにシティミュージアムで特別展を行います。



● トップチーム支援事業 地方創生 5百万円(5百万円)

岡山市を拠点として活動するトップチーム(ファジアーノ岡山、岡山シーガルズ)について、その存在がより幅広く市民に浸透していくよう、各種支援を実施します。

- ・「市民デー」のゲームで、岡山シーガルズユニフォームの胸に「岡山市」ロゴを入れます。 **新規**
- ・市内の小学生と選手と一緒に給食を食べて体を動かす事業を実施します。 **新規**
- ・日本三名園所在都市の3チームが対戦する試合で、観光や市施策のPRを行います。 **新規**
- ・「市民デー」のゲームに特別招待枠を設け、トップチームのファン層の拡大を図ります。 **新規**



● おかやまマラソン 地方創生 96百万円(96百万円)

中四国最大規模のおかやまマラソン2016を開催します。

開催予定日:平成28年11月13日(日)

● スポーツ施設整備方針に基づく施設整備 新規 2億円(1億70百万円)

スポーツ施設の適正な管理を目的として、平成27年度に策定した「スポーツ施設の整備方針」に基づき、計画的な修繕や施設整備を行います。

- ・奥市野球場・補助球場修繕
- ・神崎山公園陸上競技場芝修繕
- ・二日市公園テニスコート修繕
- ・御津スポーツパークあおぞら広場暗渠改修
- ・山田グリーンパーク野球場調査設計委託

● 全国高等学校総合体育大会の開催 59百万円(59百万円)

岡山市内では陸上競技、バドミントン、剣道の3競技を実施します。

● 岡山市体育協会の体制強化(法人化) 55百万円(55百万円)

地域のスポーツ統括団体である「岡山市体育協会」をより安定・自立した強力な組織へと発展させるための体制強化を支援し、本市におけるスポーツ推進体制の充実を図ります。

Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」

4 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり

H28予算額()書きは一般財源

地方創生

● 最適化に向けた施設整備・幼保一体化の推進事業

拡充 3億15百万円(47百万円)

教育・保育提供区域(市内30区域)ごとに、公としての役割(セーフティネット等)を担う施設を定め、公立幼保連携型認定こども園の整備を行います。

- ・施設整備事業(2か所)
甲浦認定こども園(仮称)、高島認定こども園(仮称)
- ・既存施設の増改築等(4か所)
建部認定こども園(仮称) 他

● 私立保育園施設整備費助成事業 4億59百万円(5百万円)

私立保育園の新設整備等を実施する事業者に対し、整備に要する経費を助成します。

- ・補助対象施設 4か所

● 地域型保育事業 **拡充** 2億96百万円(82百万円)

3歳未満で保育を必要とする子どもを受け入れる小規模保育(定員6人以上19人以下)及び事業所内保育事業者に対し、運営費給付や延長保育補助等を行い、保育の受け皿を拡充します。

地方創生

● 放課後児童健全育成事業 **拡充** 12億62百万円(3億85百万円)

保護者が労働等により、昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図ります。

「質の改善」 児童数による算定方法を見直すほか、開所日数・開所時間延長、障害児受入に対して補助額を拡充します。

「量の確保」 利用を希望するすべての児童を受け入れるため施設の確保を進めます。

● 子ども・子育て支援プラン策定ニーズ調査

5百万円(5百万円)

岡山市子ども・子育て支援プラン(H27~31年度)の中間的見直しを行い、各事業の需要に基づき目標事業量を定めるにあたり、時代とともに変化している子ども・子育てに関するニーズを把握するため、アンケート調査を実施します。

● 子どもの健やかな成長と若者の自立の支援

13. 5百万円(6. 6百万円)

子どもが安全で健やかに育つことができる環境づくりや、困難を抱える子ども・若者や素の家庭を支援します。

- ・ひとり親家庭学習支援事業 **新規** 8百万円(4百万円)
低所得世帯の子どもに対する高校進学のための学習を支援します。
- ・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業 **新規** 1百万円(0. 2百万円)
ひとり親家庭の親が高校卒業程度認定試験合格を目指す場合の対策講座費用等を支援します。
- ・子ども若者の育成・支援 **新規** 0. 3百万円(0. 3百万円)
引きこもり、非行、不登校などの困難を抱える子ども・若者に対して支援を充実させるため、子ども・若者育成支援協議会(仮称)を設置し、関係機関やNPO組織等と横断的な連携を図ります。
- ・発達障害者社会参加プログラムの実施 **新規** 1. 2百万円(0. 6百万円) 地方創生
生活(ライフ)スキルや社会(ソーシャル)スキルから企業向けセミナー等に至るまで複数のプログラムで包括的に支援や啓発を図ることで、成人期の発達障害者の就労を支援します。
- ・退所児童等アフターケア事業 **新規** 3百万円(1. 5百万円)
児童養護施設等を退所した子どもたちの社会的自立を支援するため、生活・就業等の相談に応ずるとともに、退所後の居場所の拠点となるアフターケア相談所を設置します。

● 児童福祉施設整備費助成事業 1億94百万円(7百万円)

児童福祉施設入所者等の福祉の向上を図るため、社会福祉法人等が行う児童福祉施設の整備に要する経費を助成します。

- ・補助対象施設 2か所



● 妊産婦相談支援事業

新規 16百万円(5百万円)

「妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目のない支援の実施」を行うために、妊産婦相談支援窓口を設置します。

- ・専門職による妊産婦の総合相談を実施します。
- ・育児体験コーナーを設置します。 など

● 子ども医療費の負担軽減(小学生通院医療費)

新規 7億72百万円(7億72百万円)

平成28年度から通院医療費について小学生を助成対象とし、現行の3割負担を1割負担に軽減します。

● 特定不妊治療費助成事業 **拡充** 1億68百万円(84百万円)

特定不妊治療を受ける夫婦に対し治療費用の一部を助成し、経済的負担を軽減します。

- ・初回の助成額を、15万円→30万円に拡充します。
- ・男性不妊治療として精巣内から直接精子を採取する治療を行った場合に、15万円を上限に上乗せ助成します。

● 女性が輝くまちづくり事業

3. 8百万円(3. 8百万円)

女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別にかかわらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。

■ さまざまな働き方への応援 **2. 6百万円(2. 6百万円)**

- ・女性の再就職支援事業 1. 5百万円(1. 5百万円)
希望する生き方を大切にした再就職支援を行います。
- ・マザーズハローワーク出張相談開催事業(再掲)

拡充 0. 2百万円(0. 2百万円)(9ページ参照)

- ・女性創業セミナー開催事業 0. 1百万円(0. 1百万円)
女性の創業希望者に対して、創業支援となるセミナーを開催します。
- ・岡山市女性農業士制度 0. 8百万円(0. 8百万円)
地域で活躍する女性農業者を女性農業士に認定し、資質の向上及び活動を支援します。

■ 隼より始めよ **1. 2百万円(1. 2百万円)**

- ・女性職員の活躍推進研修
本市の女性職員が活躍できるよう、女性職員を対象とした研修を企画・実施します。

● 若者と政治を考えるイベント **新規** 0. 7百万円(0. 7百万円)

公職選挙法改正により選挙権年齢が18歳以上になることを受け、政治について若者と一緒に考える機会と場を提供するため、学生団体、NPO法人等と協働してイベント等を開催し、投票率の向上を図ります。

- ・高校生、大学生等の若者を対象としたワークショップを実施します。
- ・活動報告発表の場としてイベントを開催します。

5 つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり

H28予算額()書きは一般財源

● 総合教育会議の開催 5.3百万円(5.3百万円)

市長と教育委員会が公開の場における議論を通じて、教育政策の方向性を共有しながら、一致して執行に当たるため、総合教育会議を開催します。

- ・総合教育会議開催経費 0.6百万円(0.6百万円)
教育行政の大綱策定に向けた検討等を行います。
- ・岡山っ子・人づくりのための民間活用調査研究事業 4.7百万円(4.7百万円)
総合教育会議の運営に当たり、国内外の各種調査結果や先進事例等に関する民間の豊富なデータと優れた知見を活用するための調査研究事業を行います。

● 『岡山っ子』学力向上推進事業 拡充

19.6百万円(19.6百万円)

「読解力・表現力・学ぶ意欲」及び「基礎学力の定着」など本市共通の学力に関する課題の解決に向けて大学と連携を図りながら、就学前教育から中等教育までの学びを連続させる一貫教育を中学校区で推進するとともに、授業改善及び人材育成に向けた取組を行います。

- ・岡山市学力アセス 新規 17百万円(17百万円)
岡山市独自の学力調査を実施します。問題作成段階から教員が関わり、分析結果を授業改善にいかします。
 - ・対象学年 小学校4年・5年 中学校1年・2年
 - ・教科 小:国・算数・理・社 中:国・数・理・社・英
平成28年度は小学校4年・5年の算数、中学校2年の数学をプレ実施
- ・全国学力・学習状況調査の活用 0.9百万円(0.9百万円)
- ・いきいき学校園づくり 0.9百万円(0.9百万円)
- ・指導教諭の活躍(好事例に学ぶ) 0.7百万円(0.7百万円)
- ・学力向上プロジェクト 0.1百万円(0.1百万円)
授業づくりの学習会や学力向上フォーラムを開催します。



● 学校支援ボランティア 拡充 3百万円(3百万円)

学校園や地域での教育活動や環境整備などの取組に対して、保護者や地域住民、学生の様々な特技や趣味などをいかして支援します。

総合教育会議の議論を踏まえ、大学等と連携しながら学生ボランティアの参加を拡充します。

● **特色ある岡山市教職員採用試験実施事業** 新規

6百万円(6百万円)

岡山県と共同で開催してきた教職員採用試験について、岡山市単独で開催することとし、本市が求める教職員を確保するための問題作成及び選考を実施します。

また、採用前研修を実施することで、教職員としての自覚を高め、新規採用者同士のつながりを深めます。



● **若手教職員育成事業** 新規

3百万円(3百万円)

- ・先輩の技と想いを伝える研修 0.7百万円(0.7百万円)
若手教員育成のためフォローアップ研修と合同研修を実施します。
- ・学校現場でできるOJT資料の作成 0.3百万円(0.3百万円)
学校現場での若手育成方法をまとめた資料の作成・配布します。
- ・すぐれた授業や指導方法を伝える 2百万円(2百万円)
ベテラン教員のモデル授業の動画DVDを作成します。

● **はぐくむ心・あったかハート事業** 拡充

3百万円(1百万円)

道徳の授業及び感動体験の機会を充実させることで道徳性を高め、思いやりの心や規範意識、向上心をもった岡山っ子の育成を図ります。

- ・道徳の教科化に向けて、担当教員を対象とした研究協議会などを実施します。

● **ストップ・ザ学校問題—学びの場充実事業—**

1億46百万円(1億14.7百万円)

問題行動等の早期発見・早期対応の充実を図り、落ち着いた学校環境づくりを強化します。

- ・共に成長し合う学級集団づくり推進事業 35.7百万円(35.7百万円)
- ・学校問題解決サポート事業 10.8百万円(10.8百万円)
- ・問題行動等対策事業 0.8百万円(0.5百万円)
- ・いじめ専門相談員派遣事業 5.8百万円(5.8百万円)
- ・不登校児童生徒支援員配置事業 4.1百万円(27.3百万円)
- ・スクールカウンセラー配置事業 51.9百万円(34.6百万円)

● **インターネット予約図書を受取・返却窓口拡充事業** 新規

8百万円(8百万円)

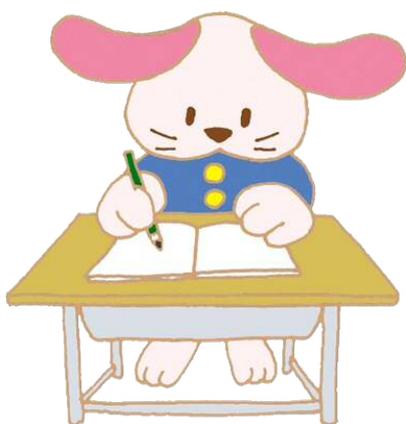
インターネット予約図書を受取・返却場所である図書館に加え、市民にとって身近な公民館を受取・返却窓口にすることで、図書館から離れた地域の市民への利便性を高め、図書サービスの拡充を図ります。

- ・平成28年度モデル実施公民館(3館) 高松公民館、福田公民館、高島公民館

● 操山地区公民館整備事業

7億89百万円(82百万円)

整備用地を土地開発基金から取得し、教育相談室及び適応指導教室と合築整備します。



6 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり

H28予算額()書きは一般財源

● 協働のまちづくり条例普及・促進事業

新規

4百万円(4百万円)

「協働のまちづくり条例」の改正、施行を受け、新たな審議会の設置並びに推進計画の策定・検証、推進体制の整備を行うことによって、多様な主体の協働による社会課題の解決を促進し、持続可能な地域社会を目指します。

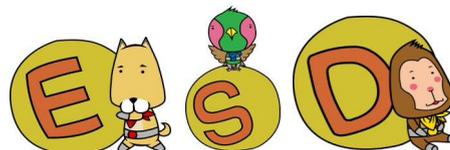
- ・市民協働推進委員会(仮称)、庁内の協働推進本部設置、各課への協働推進員の配置
- ・フォーラムの開催及びNPO法人の基盤強化事業
- ・優れた協働事業の表彰

● 岡山ESDプロジェクト推進事業

地方創生(一部)

1億51百万円(1億19百万円)

ユネスコのキーパートナーとして世界の多様なネットワークと連携し、岡山市のESDの取組を発信、交流するなど、国内をはじめ世界のESDの理解浸透や活動の拡大に貢献し、ESDの推進を図ります。



■ 学校教育や社会教育等へのESDの浸透の取り組み 52百万円(45百万円)

- ・岡山ESDプロジェクトによるESD推進事業 16百万円(16百万円)
 - ・ESD推進による持続可能な社会づくり担い手育成 拡充 2.5百万円(2.5百万円)
 - ・ESD岡山アワード(優秀事例の表彰)の実施 2百万(2百万) など
- ・ESD・市民協働推進センターによる参画促進 14.6百万円(14.6百万円)
- ・公民館ESD活動推進事業 3.3百万円(3.3百万円) など

■ 環境保全に係る取組 28百万円(15百万円)

- ・環境づくり支援事業、未来へつなぐ森林体験バスツアー など

■ 国際理解に係る取組 13百万円(1百万円)

- ・おかやまイングリッシュビレッジ事業、国際サマーホームステイ in OKAYAMA など

■ 防災・まちづくりに係る取組 35百万円(35百万円)

- ・防災まちづくり学校、防災キャンプ推進事業、協働のまちづくり条例普及・促進 など

■ 健康福祉・社会的公正に係る取組 23百万円(23百万円)

- ・健康市民おかやま21(第2次)、人権のまちづくり塾、男女共同参画大学(さんかくカレッジ)

● コミュニティ施設整備事業

1億45百万円(12百万円)

旧保育園跡地にコミュニティハウスを整備します。

- ・灘崎地区コミュニティハウス(南区片岡)
- ・迫川学区コミュニティハウス(南区迫川)

Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」

7 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

H28予算額()書きは一般財源

地方創生(一部)

● 伸ばそう健康寿命！

知って変わって、つながって元気、歩いて楽しいまちづくり

27億37百万円(14億64百万円)

■ 知って変わる～健康状態を知って、生活習慣を見直す～

2億47百万円(43百万円)

- ・生活習慣の改善・生活習慣病予防 5百万円(3百万円)
- ・かるうま減塩プロジェクト **新規** 11.4百万円(11.4百万円)
高血圧の効果的な予防の一つである減塩に着目し、健康に関心の乏しいものであっても高血圧予防に取り組みやすい環境整備を企業との連携により進めます。
- ・介護予防の推進 2億31百万円(29百万円) など
介護予防事業高齢者の介護予防を推進するため、介護予防教室等の予防事業を行います。

■ 地域でつながる～地域でのつながりをつくる～ 1億95百万円(63百万円)

- ・生涯現役社会づくり事業 19百万円(19百万円)(26ページ参照)
- ・市民協働推進モデル事業 2百万円(2百万円)
- ・地域地産地消推進モデル事業 0.5百万円(0.5百万円)
- ・多面的機能支払交付金事業(再掲) 1億72百万円(40.5百万円)
- ・ええとこ発見図 1.5百万円(1.5百万円)

■ 楽しく歩く・運動する～歩いて楽しいまちをつくる～

8億96百万円(4億25百万円)

- ・スマートウエルネスシティ構想に沿った健康推進プログラム 1億57百万円(9百万円)
- ・桃太郎さんの朝ごはん **拡充** 10百万円(10百万円)(10ページ参照)
- ・自転車先進都市おかやま事業(再掲) 5億80百万円(2億52百万円)(13ページ参照)
- ・まちなか健康スタンプラリー 5.5百万円(5.5百万円) など



■ **健康づくりの基盤** 13億99百万円(9億33百万円)

- ・がん検診の実施 10億13百万円(8億81百万円)
- ・医療適正化事業(健康診査関連) 3億29百万円(一)
- ・歯と口腔の健康支援プログラム 44百万円(41百万円) など

地方創生

● **生涯現役社会づくり事業(再掲)** 拡充 19百万円(19百万円)

「生涯現役応援センター」を設置し、高齢者と、企業や地域社会の活躍できる場をつなぐコーディネーターを配置し、相談支援、セミナーの開催、退職高齢者の意識改革や動機付け、さらには就労・ボランティアへの参加を促します。

- ・コーディネーターの増員(2人→3人)、各福祉区で出張相談窓口を開設します。

地方創生

● **在宅医療・介護の推進** 71百万円(42百万円)

新市民病院内に開設した「地域ケア総合推進センター」を地域医療ネットワークの拠点として、平成23年度から取り組んできた在宅医療・介護の推進に向けた取り組みをさらに発展させ、最適な地域医療システムの構築を目指します。

- ・「岡山市地域ケア総合推進センター」の運営 38百万円(19百万円)
- ・岡山市における医療連携のあり方協議会の開催 拡充 4百万円(4百万円)
在宅医療に関する市民・専門職意識調査を実施します。
- ・かかりつけ医スキルアップ研修 新規 1百万円(0.2百万円)
がんの症状管理スキル向上研修及び、他職種専門チーム(リエゾンチーム)の結成を目指します。
- ・身体・精神合併症救急連携事業 12百万円(12百万円)
- ・在宅療養支援強化事業 1百万円(0.2百万円) など

● **在宅介護総合特区～AAAおかやま～の推進** 96百万円(19百万円)

在宅に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。

- ・介護機器貸与モデル事業
在宅の方に最先端の介護機器を貸与します。
- ・介護予防ポイント事業
過去に介護認定を受けていて、現在認定を受けていない人がフィットネスクラブ等を利用した場合に換価可能なポイントを付与します。
- ・デイサービス改善インセンティブ事業
デイサービスの質を評価し、利用者の状態の維持改善を図る事業所にインセンティブを与えることで介護サービスの質の向上を図ります。



● **老人福祉施設整備助成事業** 5億43百万円(一)

地域密着型介護老人福祉施設の整備及び、特別養護老人ホームの多床室について、居住環境の質を向上させるために、プライバシー保護のための改修費用を助成します。

- ・地域密着型介護老人福祉施設(3か所) 4億25百万円(一)
- ・多床室の改修 1億18百万円(一)

● ～岡山市版オレンジプランの推進～ 26百万円(6百万円)

- ・認知症カフェ事業 **拡充** 7百万円(1百万円)
認知症の人とその家族、地域住民など誰もが参加でき集う場所として「認知症カフェ」を設置し、包括的に認知症への対応を図ります。
3福祉区(北、中区、南) → H28年度はすべての福祉区で実施します。
- ・認知症見守りネットワーク事業 6百万円(1百万円)
徘徊行方不明者の捜索及び保護された身元不明の認知症高齢者を一時的な緊急保護施設で確保し、安心して地域で生活できる見守りシステムを構築します。
- ・早期発見事業の強化 10百万円(2百万円) など
認知症支援チームを地域ケア総合推進センター・地域包括支援センターに配置し認知症の人や家族を支援します。また、認知症早期発見支援ソフトを試験導入し、早期発見を推進します。

● 身近な介護予防教室推進事業 **新規** 2百万円(0.2百万円)

- 介護予防センターが生活圏域単位(中学校区)で開催している介護予防教室を小学校区に拡大するため、介護予防を実施する小学校区の事業者へ助成します。
- ・週1回以上、2～3時間の教室で、介護予防の講座などの座学、体操やレクリエーション、地域の交流等を実施します。(平成28年度は12カ所の事業所へ助成予定)

● 第17回介護保険推進全国サミット **新規**

29百万円(8百万円)

介護分野における先進自治体による取組事例、課題等についてセミナーを実施し、地方自治体の職員、介護・福祉関係者などが交流して意見交換を行うとともに、本市が先進的に実施している取組を全国に発信します。

開催日 平成28年10月20日～21日 場所 岡山シンフォニーホール他

● 障害者就労支援事業 21百万円(5百万円)

障害者とその適正や能力に応じた多様な働き方を選択できるよう、福祉、雇用、教育の各分野が連携しながら就労支援に取り組むとともに、障害者就労施設における工賃向上を支援します。

- ・一般就労支援事業 **拡充** 11.3百万円(3百万円)
企業等への就職支援に加え、障害者就労支援セミナー、企業交流会を実施します。
- ・職場定着支援 **拡充** 8百万円(2百万円)
一般就労している障害者が交流する場の整備に加え、職場や家庭等への訪問支援を追加します。
- ・工賃向上支援 1.4百万円(0.4百万円)

● 障害者差別解消推進事業 **新規** 9百万円(3百万円)

平成28年4月に障害者差別解消法が施行されることに伴い、障害を理由とする差別の解消を推進し、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現を図ります。

- ・合理的配慮の提供(意思疎通支援の拡大)
来庁者をはじめとする行政サービスを受ける障害者の利便性を向上させるために、手話通訳者の配置、テレビ電話の設置整備を進めます。
手話通訳者の配置2名(本庁) → 5名(各区役所を追加)
テレビ電話の設置5台(本庁、一部区役所・福祉事務所) → 9台(各区役所、各福祉事務所へ整備)
- ・障害者差別解消支援地域協議会の設置
地域全体での差別解消を目指して、情報交換、各機関での取組等について協議を行います。

● 心身障害者福祉施設整備助成事業

4億58百万円(15百万円)

社会福祉施設入所者等の福祉の向上を図るために、心身障害者福祉施設の整備等を実施する事業者へ整備経費を助成します。

・補助対象施設 4か所

● 臨時福祉給付金給付事業

拡充

28億59百万円(一)

消費税率引上げに伴う低所得者世帯等への影響緩和のため、昨年度に引き続き臨時的な給付を行います。また、アベノミクス成果均てんの観点から、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得高齢者及び障害・遺族基礎年金受給者に臨時的な給付を行います。

・臨時福祉給付金(1人3千円) 5億72百万円(一)

・年金生活者等支援臨時福祉給付金(1人30千円) 22億86百万円(一)

● 生活困窮者自立支援事業

1億26百万円(41百万円)

生活困窮者自立支援法に基づいて、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある方を対象として、自立支援事業を実施します。

● 生活保護適正実施の推進

1億4百万円(30百万円)

稼働能力のある生活保護受給者に対し様々な就労支援を行うとともに、生活保護費の約半分を占める医療扶助の適正化を図ることにより、制度の適正な実施を推進します。

● 骨髄バンクドナー奨励金

新規

2百万円(1百万円)

公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄等の提供を行った者及び提供を行った者を雇用する事業所に対し、奨励金を交付することによりドナー登録及び提供の推進を図ります。

・個人 入院:1日あたり20千円 通院:1日あたり5千円

・事業所 1日あたり10千円

● 国民健康保険財政健全化計画の推進

4億23百万円(17百万円)

「国民健康保険財政健全化計画」に基づき、収納率向上・医療費適正化対策を推進し、給付と負担のバランスのとれた国民健康保険財政健全化のための取組を行います。

・特定健康診査 3億17百万円(一)

・医療費適正化特別対策事業 34百万円(15百万円) など

8 地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり

H28予算額()書きは一般財源

地方創生(一部)

● 地域防災対策事業

125億37百万円(76億92百万円)

■ 地域防災計画改定等

15百万円(15百万円)

- ・岡山市国土強靱化地域計画の策定 **新規** 3百万円(3百万円)
- ・地域防災計画の見直し 5百万円(5百万円)
- ・医療救護計画案の検討 1百万円(1百万円) など

■ 防災拠点の整備

22億円(17億3百万円)

- ・消防署所適正配置事業 3億58百万円(3百万円)
北消防署建部出張所、西消防署吉備津出張所(仮称)
- ・消防団分団機庫整備事業 59百万円(16百万円)
- ・防災拠点施設整備事業
中区役所、水道庁舎 17億83百万円(16億84百万円)



■ 防災関連施設整備

34億28百万円(6億99百万円)

- ・橋梁長寿命化対策事業 9億27百万円(2億87百万円)
- ・橋梁耐震補強事業 1億95百万円(9百万円)
- ・ため池等農地防災対策事業 1億70百万円(65百万円)
- ・河川防災対策 3億22百万円(71百万円)
- ・海岸保全施設整備事業 1億27百万円(44百万円)
- ・都市防災対策(防災公園)(再掲) 11億97百万円(1億92百万円)
岡山西部総合公園(仮称)
- ・下水道による浸水対策 4億84百万円(26百万円)(30ページ参照) など

■ 緊急情報網の整備

4億31百万円(3億52百万円)

- ・防災情報ネットワーク整備事業(中区役所) 96百万円(16百万円)
- ・消防救急無線デジタル化整備 61百万円(61百万円)
- ・緊急告知FMラジオの整備等 1百万円(1百万円)
- ・庁内LANシステムの再構築(運営経費) 2億58百万円(2億58百万円) など

■ ライフライン等確保

59億24百万円(45億42百万円)

- ・水道施設耐震化事業 58億2百万円(45億32百万円)
- ・下水道施設耐震化事業 1億22百万円(10百万円)



■ 防災等啓発

14百万円(13百万円)

- 防災に対する意識を高めるため以下のような啓発活動を実施します。
- ・実践的安全教育総合支援事業
 - ・岡山市防災キャンプ推進事業 など

■ **避難所協定・整備** 0.1百万円(0.1百万円)

協定避難所等へシンボルマーク(夜光看板)を設置します。

■ **災害への対応** 5億25百万円(3億68百万円)

- ・住宅・建築物耐震改修等補助事業 拡充 2億3百万円(70百万円)
- ・小中学校への災害用備蓄倉庫の設置 新規 24百万円(-)(31ページ参照)
- ・備蓄物資配備、水害防止対策資機材の拡充 99百万円(99百万円)
- ・自主防災組織の育成 9百万円(9百万円)
- ・住宅用火災警報器の設置促進 拡充 5百万円(5百万円) (31ページ参照) など

地方創生(一部)

● **市有建築物の耐震化** 54億73百万円(14億58百万円)

学校園をはじめとした市有建築物の耐震改修を推進し、安全・安心な教育環境と地域住民の避難拠点を確保します。

(単位:百万円)

施設区分	実施内容	平成28年度		平成27年度		増減	
		棟数	予算額	棟数	予算額	棟数	予算額
小中学校	改修・改築	17	3,274	115	7,624	△ 98	△ 4,350
幼稚園	改修	4	115	13	156	△ 9	△ 41
保育園	改修・改築	7	355	7	152	0	203
児童館	改修	1	25	10	14	△ 9	11
公民館	改修	17	535	5	36	12	499
コミュニティハウス	改修	11	106	2	7	9	99
その他施設	改修	27	1,063	31	589	△ 4	474
別途検討施設	手法検討	0	0	1	9	△ 1	△ 9
合計		84	5,473	184	8,587	△ 100	△ 3,114



● **下水道施設の長寿命化・地震対策の推進** 29億29百万円(1億3百万円)

老朽化が進んでいる下水道施設の機能停止等を未然に防ぐため、限られた予算の中で整備費の平準化を図りながら施設の改築更新と耐震化を計画的に進めます。

● **浸水対策事業** 拡充 6億54百万円(1億46百万円)

近年のゲリラ豪雨等による浸水被害を防止するため以下の対策を講じます。

- ・下水道による浸水対策(再掲) 4億84百万円(26百万円)
- ・浸水対策特別事業 1億70百万円(1億20百万円)

地方創生

● **空家等適正管理支援事業** 拡充 30百万円(17百万円)

空家等の利活用や適切な管理を促進させるために、空家等の適切な管理について、所有者等の自主的な取組を支援します。

- ・耐震・劣化診断費用、リフォーム費用、老朽化した危険な空家等の除却費用の一部を助成します。

● **小中学校への災害用備蓄倉庫の設置(再掲)** **新規** **24百万円(0百万円)**

災害時に避難所となる小中学校への分散備蓄を充実させるため、余裕教室等が確保できない学校へ備蓄倉庫を設置し、不測の事態への対応を強化します。

● **住宅用火災警報器の設置推進事業(再掲)** **拡充** **5百万円(5百万円)**

住宅用火災警報器の設置・普及を推進し、住宅における防火・安全性を向上させるため、リーフレットを作成して市内約28万世帯へ配布するとともに、消防職・団員による戸別訪問指導を実施します。



● **用水路等安全対策** **拡充** **2億37百万円(2億37百万円)**

地元や警察とも連携し、用水路等の危険箇所に対する安全対策を集中的に実施し、市民の通行の安全性の向上を図ります。

- ・警察等からの情報をもとに用水路危険箇所の安全対策工事を実施します。
- ・地元等と協力しながら、用水路危険箇所の調査を実施します。



● 『「安全で安心なまちづくり」岡山市行動プラン』に基づく取組 **地方創生**

1億13百万円(61百万円)

安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、交通事故防止対策と防犯対策を岡山県警と協働して実施します。

- ・自転車安全運転免許証交付事業 **新規** 2百万円(2百万円)
小4から小6の児童に自転車安全運転講習を行い、「自転車安全運転免許証」を交付します。
- ・特殊詐欺等被害対策電話機設置支援事業 **新規** 2百万円(2百万円)
詐欺対策機能付き電話機の購入に補助金を交付します。(2人以下の高齢者世帯を対象)
- ・防犯カメラ設置支援事業 **拡充** 1億5百万円(53百万円)
防犯カメラを設置する町内会等住民団体に経費の一部補助を行います。
- ・地域防犯ボランティア支援事業 **新規** 4百万円(4百万円)
地域防犯ボランティア団体等に対して各種防犯指導や啓発活動等を行います。

● **斎場整備事業** **6億66百万円(1億25百万円)**

老朽化に伴う東山斎場の建替えと火葬需要の増加や災害時のリスク分散を図る観点から新斎場を整備します。

- ・東山斎場再整備事業 6億26百万円(85百万円)
- ・新斎場整備事業 40百万円(40百万円)

9 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり

H28予算額()書きは一般財源

● 環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の改定 **新規**

9百万円(9百万円)

国が策定する予定の地球温暖化対策に関する計画や、新たな総合計画を踏まえ、現行の岡山市環境基本計画及び岡山市地球温暖化対策実行計画の改定を行います。

● 地球温暖化対策推進事業 **拡充** 4億64百万円(3億49百万円)

「地球温暖化対策実行計画」に基づき、市民生活や都市活動における環境負荷の低減を積極的に実践するため、市民・事業者・行政が目標を共有・協働して各種事業を推進します。

■ スマートエネルギー導入促進 2億33百万円(2億33百万円)

- ・住宅用太陽光発電システム導入 90百万円(90百万円)
助成件数900件、助成対象10kW未満、助成額1kW当たり2万円(上限10万円)
- ・住宅用省エネ設備導入 54百万円(54百万円)
燃料電池、家庭用蓄電池、HEMSなど省エネ機器設置等に対し助成します。
- ・事業所用省エネ設備導入 88百万円(88百万円)
デマンド管理装置、LED照明機器、高効率空調機等に対し助成します。 など

■ 省エネルギーの促進 66百万円(66百万円)

- ・LED防犯灯の設置普及 44百万円(44百万円)
町内会の新設850灯への助成、市の取替・新設220灯
- ・エコ通り推進事業 21百万円(21百万円)
市役所筋の照明をLED化(46基)し、省エネルギー化を図るとともに経費を節減します。
- ・ライトダウンキャンペーンの実施 1百万円(1百万円)
各家庭や事業所で夏至から七夕(6/21~7/7)にかけて、消灯という身近な取組ひとつで地球温暖化防止につながることを実感し、実践するキャンペーンを行います。

■ 電気自動車等の普及促進 19百万円(19百万円)

- ・電気自動車及び充電設備の導入助成 7百万円(7百万円)
電気自動車65台(助成額10万円/台)、充電設備3台
- ・公用電気自動車の導入及び充電設備設置 12百万円(12百万円)

■ 市有施設への太陽光発電設備の設置

1億18百万円(14百万円)

学校耐震化、中区役所、甲浦認定こども園(仮称)、操山地区公民館整備工事等にあわせて、太陽光発電設備を設置します。



■ 環境保全の推進

28百万円(17百万円)

- ・環境づくり支援事業 **拡充** 8百万円(5百万円)
水辺教室、自然環境教室、地球環境問題ポスターコンクールなどを行います。
- ・環境保全行動推進事業 **拡充** 18百万円(10百万円)
環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画の改定などを行います。(32ページ参照) など

● いきものいろいろ交流プロジェクト **新規**

14百万円(12百万円)

生物多様性の現状や課題等に関する市域全体の理解度を深めながら、多様な主体との連携・協働により、様々な保全の取組を効果的に推進します。

- ・生物多様性地域戦略の策定 5百万円(5百万円)
- ・いきものフェスティバルの開催 5百万円(3百万円)
など



● 汚水処理施設整備 49億76百万円(1億42百万円)

下水道未普及地区の早期解消に努め、良好な水環境の保全を図ります。

● 一宮浄化センター施設整備事業 9億9百万円(12百万円)

老朽化した基幹的設備及び建物について、現有施設を利用した改修工事を行います。

● 合併処理浄化槽設置整備事業費補助金 **拡充**

4億35百万円(2億77百万円)

- 自宅に合併処理浄化槽を設置する個人に対して、申請に基づき補助金を交付しています。
- ・既存住宅の合併処理浄化槽への転換については国基準額に上乗せして補助します。

● 水洗便所改造等設備助成金 **拡充** 40百万円(一)

既設の汲取便所又はし尿浄化槽を廃止し、供用開始から3年以内に公共下水道に接続する者に対し、助成金を交付します。

- ・汲取便所改造助成金 補助単価を増額します。
- ・新たにアパート等に対する助成メニューを追加します。

● ごみ処理広域化対策事業 7百万円(5百万円)

岡山ブロックごみ処理広域化基本計画を踏まえ、施設整備用地の選定などを行います。

● 生ごみ削減のための堆肥化推進事業 **新規**

5百万円(5百万円)

市民に「生ごみを堆肥化し、ごみを減らす」ことを手軽にできる「ダンボールコンポスト」の使用を普及促進し、可燃ごみの減量化・資源化を図ります。

3つの都市像実現のベースとなる都市経営の視点

10 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営

H28予算額()書きは一般財源

● 総合計画の策定 19百万円(19百万円)

人口減少問題や、少子・高齢化をはじめとする時代の変化や課題に対応するため、新たな総合計画を策定し、中長期的な展望に立ったまちづくりを進めます。

平成27年度には長期構想を策定することとしており、平成28年度には、長期構想に基づく施策の具体的展開を示す中期計画を策定します。

● 連携中枢都市圏ビジョンの策定 7百万円(7百万円)

本市が中心となって関係自治体8市5町の連携について協議・検討し、平成28年度中に「連携中枢都市圏宣言」、「連携中枢都市圏ビジョン懇談会の設置」、「連携協約の締結」及び「連携中枢都市圏ビジョンの策定」を目指します。

関係自治体 岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町

● 第2回瀬戸内4県都市長会議の開催 新規 0.3百万円(0.3百万円)

「瀬戸内」の中心都市である岡山市、広島市、高松市及び松山市の4市が連携して、観光振興や販路拡大などの共通課題に取り組み、互いの特性をいかして相乗効果を発揮することを目指し、4市の市長による会議を開催します。

開催時期 平成28年秋予定

● 第78回全国都市問題会議の開催 新規 25百万円(25百万円)

全国の市長、議員、自治体関係者及び研究者等が一堂に会し、時勢を踏まえた都市問題や都市行政課題について討議を行う「全国都市問題会議」を開催します。

開催時期 平成28年10月6日～7日

● 区役所・地域センター等整備事業 10億66百万円(1億70百万円)

- ・中区役所整備事業 6億71百万円(1億21百万円)
- ・吉備公民館・吉備地域センター整備事業 58百万円(29百万円)
- ・西消防署吉備津出張所・高松地域センター整備事業 3億31百万円(19百万円)
- ・福田地域センター整備事業(福田公民館併設) 新規 6百万円(1百万円)

● 公共施設等マネジメント推進事業

76百万円(76百万円)

将来的な人口減少と少子高齢化社会に向けて、インフラも含めた公共施設の統廃合や長寿命化等のマネジメントを推進することによって、財政負担の軽減や平準化を図るとともに公共施設等の最適な配置を実現します。

- ・公共施設等総合管理計画の策定 11百万円(11百万円)
- ・固定資産台帳整備事業 60百万円(60百万円)
- ・PPP(公民連携)事業 5百万円(5百万円)

公共施設等マネジメントの促進のため、市と民間とのハコモノの相互利用のために有効な手段や方法を探るとともに、「岡山PPP交流広場」において民間との情報の提供・交換・共有を行います。

● 社会保障・税番号制度に対応した市民サービスの提供

拡充

74百万円(74百万円)

平成28年1月からの社会保障・税番号制度の開始に伴い、個人番号カードによる多目的利用(コンビニ交付)が可能な証明書に戸籍関係の証明書を追加し、市民の利便性の向上を図ります。



岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る取組

人口減少、少子高齢化という大きな課題に対応し、自立した活力ある地域社会を創生するため、平成27年10月に「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

総合戦略に掲載された事業に係る平成28年度当初予算の状況は以下のとおりです。

(単位:百万円)

4つの基本目標及び具体的な取組	事業費	一般財源
1 岡山市の強みを活かし、安定した雇用と活力を創出する	1,432	1,099
※ 新たな雇用と成長を促す戦略的な産業の振興	389	388
歴史文化資源等を活かした観光誘客の促進	582	476
活力ある農業の振興	321	96
地域の活力を担う人材の育成・確保	140	139
2 岡山市への新しい人の流れをつくる	0	0
※ 移住・定住の促進	0	0
※ 「生涯活躍のまち(日本版CCRC)」構想の推進	0	0
3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	1,712	547
保育所・放課後児童クラブへの入所待機児童の解消	1,647	499
結婚・出産・子育て支援	62	45
※ ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進	3	3
4 安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する	743	465
コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり	119	97
地域連携の推進	27	27
健康寿命の延伸と豊富な医療・介護資源を生かした地域づくり	295	94
安心に暮らせる地域づくり	200	148
地域の課題解決のための持続可能な取組	102	99
平成28年度事業費計	3,887	2,111

※当該項目の全部または一部について、平成28年度当初予算から、平成27年度2月補正予算への前倒し実施を予定。

「社会保障と税の一体改革」の影響

平成26年度からの消費税率の引上げに伴う増収分は、国・地方とも全て社会保障の充実と安定化に使われます。

区 分	H26.3.31以前	H26.4.1以降	引上げ率	備 考
消 費 税	4.0%	6.3%	2.3%	国増収見込額 約6.0兆円
地方消費税	1.0%	1.7%	0.7%	地方増収見込額 約2.2兆円
合 計	5.0%	8.0%	3.0%	国・地方増収見込額 約8.2兆円

●岡山市における増収額及びその用途

○ 増 収 額

区 分	予算額	うち消費税率引上げによる増収分
		地方消費税交付金

○ 使 途

(単位:百万円)

区 分	事 業 費	財 源	
		特定財源	一般財源
社会福祉費	42,306	18,321	23,985
老人福祉費	10,740	2,005	8,735
児童福祉費	44,843	24,679	20,164
生活保護費	25,010	18,113	6,897
保健衛生費	9,928	2,302	7,626
合 計	132,827	65,420	67,407

消費税率引上げによる増収分については、社会保障施策に要する経費に充当しています。

(注) 地方消費税交付金の充当の主なものは、以下のとおりです。

社会保障の充実経費

- 子ども・子育て支援新制度への対応等
- 低所得者保険料軽減措置の拡充等
- 医療・介護サービスの提供体制の拡充
- 難病・小児慢性特定疾病への対応
- 社会的養護の充実



平成28年度当初予算編成過程の見える化

平成28年1月20日に公表済みの当初予算要求額に対する当初予算額(案)を公表します。

1. 会計別予算額

(単位:百万円)

区 分	平成28年度 当初要求額 (A)	平成28年度 当初予算額(案) (B)	平成27年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
一 般 会 計	289,866	284,324	284,806	△ 482	△ 5,542
特 別 会 計	193,668	193,591	193,165	426	△ 77
事 業 会 計	72,553	71,769	69,653	2,116	△ 784
合 計	556,087	549,684	547,624	2,060	△ 6,403

2. 一般会計(款別)予算額

(単位:百万円)

区 分	平成28年度 当初要求額 (A)	平成28年度 当初予算額(案) (B)	平成27年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
議 会 費	1,142	1,141	1,297	△ 156	△ 1
総 務 費	23,527	23,078	21,417	1,661	△ 449
民 生 費	123,315	122,913	114,609	8,304	△ 402
衛 生 費	25,104	24,779	26,943	△ 2,164	△ 325
労 働 費	477	525	199	326	48
農林水産業費	7,732	7,676	6,338	1,338	△ 56
商 工 費	1,802	1,669	1,394	275	△ 133
土 木 費	43,505	42,234	44,507	△ 2,273	△ 1,271
消 防 費	7,942	7,823	9,316	△ 1,493	△ 119
教 育 費	24,045	21,234	25,967	△ 4,733	△ 2,811
災害復旧費	0	0	0	0	0
公 債 費	31,075	31,052	32,619	△ 1,567	△ 23
予 備 費	200	200	200	0	0
合 計	289,866	284,324	284,806	△ 482	△ 5,542

3. 特別会計・事業会計予算額

(1) 特別会計予算額

(単位:百万円)

区 分	平成28年度 当初要求額 (A)	平成28年度 当初予算額(案) (B)	平成27年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
国民健康保険費	86,195	86,180	88,142	△ 1,962	△ 15
用品調達費	38	38	38	0	0
住宅新築資金等貸付事業費	34	34	35	△ 1	0
災害遺児教育年金事業費	13	13	14	△ 1	0
公共用地取得事業費	1,120	1,120	1,272	△ 152	0
財産区費	11	11	7	4	0
学童校外事故共済事業費	13	13	13	0	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	166	166	166	0	0
駅元町地区市街地再開発事業費	1,366	1,366	441	925	0
介護保険費	61,068	61,032	58,874	2,158	△ 36
後期高齢者医療費	8,762	8,759	8,077	682	△ 3
公債費	33,474	33,451	33,925	△ 474	△ 23
岡山市立総合医療センター病院事業債	1,408	1,408	2,161	△ 753	0
合 計	193,668	193,591	193,165	426	△ 77

○主な増減(対前年当初予算比)

国民健康保険費	保険給付費の減	△1,022
駅元町地区市街地再開発事業費	企業債償還金の増(最終年度における残元金の一括償還)	+943
介護保険費	介護保険給付費の増	+2,161 (H27 56,233 H28 58,394)

(2) 事業会計予算額

(単位:百万円)

区 分	平成28年度 当初要求額 (A)	平成28年度 当初予算額(案) (B)	平成27年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
病院事業会計	61	61	56	5	0
水道事業会計	25,117	24,397	23,090	1,307	△ 720
工業用水道事業会計	413	384	295	89	△ 29
市場事業会計	1,006	1,006	1,013	△ 7	0
下水道事業会計	45,956	45,921	45,199	722	△ 35
合 計	72,553	71,769	69,653	2,116	△ 784

○主な増減(対前年当初予算比)

水道事業会計	水道庁舎建築事業費の増	+1,068
工業用水道事業会計	同上	+97
下水道事業会計	旭西排水センター耐震・長寿命化事業費の増	+901

※事務事業別の要求・査定状況は、別紙2のとおり。

国の補正予算等に伴う前倒し実施予定事業一覧

国の平成27年度補正予算(第1号)等への対応に伴い、以下の事業については平成28年度当初予算から、平成27年度2月補正予算への前倒し実施を予定しています。

区分	事業名	内容
地方創生関係	ヘルスケア産業の創出・育成事業	ヘルスケア産業に関するマーケティング調査、地域版協議会の設置、創業・商品開発支援制度等の検討、研究会(ワーキンググループ)への支援等
	移住・定住促進事業	移住定住希望者に対するワンストップでの相談窓口の設置や説明会の開催、メディアを活用した情報発信、お試し住宅の提供等
	生涯活躍のまち構想推進事業	生涯活躍のまち構想の検討に係る経費
	女性が輝くまちづくり推進事業	女性活躍シンポジウムや座談会の開催、市内企業で働く女性の活躍応援プログラムの実施、情報発信等
その他	学校耐震改修整備事業	小中学校の耐震改修整備
	北長瀬みずほ住座再生事業(市営住宅・社会福祉施設導入区域)	岡山操車場跡地における北長瀬みずほ住座の建替えに係る用地の取得(土地開発公社からの買戻し)
	地域情報化基盤整備事業費	地方公共団体情報セキュリティの強化対策

<前倒し実施予定事業費>

地方創生関係分	0.8億円	
その他分	26.2億円	計 27億円

(参考)平成27年度 6.3億円

一般会計歳入・歳出

■ 歳 入

(単位:千円)

款 別	28年度当初 A	27年度当初 B	差 引 増 減		構 成 比 (%)	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	28年度 当 初	27年度 当 初
市税	113,166,500	112,141,294	1,025,206	0.9	39.8	39.4
地方譲与税	2,584,000	2,609,000	△ 25,000	△ 1.0	0.9	0.9
利子割交付金	259,000	237,000	22,000	9.3	0.1	0.1
配当割交付金	1,032,000	975,000	57,000	5.8	0.4	0.4
株式等譲渡所得割交付金	669,000	373,000	296,000	79.4	0.2	0.1
地方消費税交付金	13,662,000	12,320,000	1,342,000	10.9	4.8	4.3
ゴルフ場利用税交付金	118,000	119,000	△ 1,000	△ 0.8	0.0	0.1
自動車取得税交付金	432,000	391,000	41,000	10.5	0.2	0.1
軽油引取税交付金	4,854,000	4,960,000	△ 106,000	△ 2.1	1.7	1.7
国有提供施設交付金	75,000	75,000	0	0.0	0.0	0.0
地方特例交付金	388,000	375,000	13,000	3.5	0.1	0.1
地方交付税	23,200,000	23,000,000	200,000	0.9	8.2	8.1
交通安全対策特別交付金	343,000	359,000	△ 16,000	△ 4.5	0.1	0.1
分担金及び負担金	3,035,415	4,402,308	△ 1,366,893	△ 31.0	1.1	1.6
使用料及び手数料	7,048,542	5,767,974	1,280,568	22.2	2.5	2.0
国庫支出金	53,800,106	51,284,455	2,515,651	4.9	18.9	18.0
県支出金	14,128,534	12,208,515	1,920,019	15.7	5.0	4.3
財産収入	1,132,980	712,852	420,128	58.9	0.4	0.3
寄附金	209,270	23,290	185,980	798.5	0.1	0.0
繰入金	5,978,747	6,289,943	△ 311,196	△ 4.9	2.1	2.2
繰越金	0	300,000	△ 300,000	△ 100.0	0.0	0.1
諸収入	2,846,813	2,799,661	47,152	1.7	1.0	1.0
市債	35,360,800	43,082,600	△ 7,721,800	△ 17.9	12.4	15.1
合 計	284,323,707	284,805,892	△ 482,185	△ 0.2	100.0	100.0

■ 歳 出

(単位:千円)

款 別	28年度当初 A	27年度当初 B	差 引 増 減		構 成 比 (%)	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	28年度 当 初	27年度 当 初
議会費	1,141,359	1,296,590	△ 155,231	△ 12.0	0.4	0.5
総務費	23,078,089	21,417,147	1,660,942	7.8	8.1	7.5
民生費	122,913,182	114,609,128	8,304,054	7.2	43.2	40.2
衛生費	24,778,523	26,943,473	△ 2,164,950	△ 8.0	8.7	9.5
労働費	525,047	198,671	326,376	164.3	0.1	0.1
農林水産業費	7,676,251	6,337,506	1,338,745	21.1	2.7	2.2
商工費	1,669,399	1,394,156	275,243	19.7	0.6	0.5
土木費	42,233,790	44,507,367	△ 2,273,577	△ 5.1	14.9	15.6
消防費	7,822,891	9,315,504	△ 1,492,613	△ 16.0	2.8	3.3
教育費	21,233,561	25,967,194	△ 4,733,633	△ 18.2	7.5	9.1
災害復旧費	—	—	0	0.0	0.0	0.0
公債費	31,051,615	32,619,156	△ 1,567,541	△ 4.8	10.9	11.4
予備費	200,000	200,000	0	0.0	0.1	0.1
合 計	284,323,707	284,805,892	△ 482,185	△ 0.2	100.0	100.0

特別会計

(単位:千円)

会 計 別	28年度当初 A	27年度当初 B	差 引 増 減	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B
国民健康保険費	86,179,977	88,141,508	△ 1,961,531	△ 2.2
用品調達費	38,000	38,000	0	0.0
住宅新築資金等貸付事業費	34,003	34,586	△ 583	△ 1.7
災害遺児教育年金事業費	12,780	13,808	△ 1,028	△ 7.4
公共用地取得事業費	1,119,508	1,271,890	△ 152,382	△ 12.0
財産区費	11,384	7,167	4,217	58.8
学童校外事故共済事業費	12,725	12,885	△ 160	△ 1.2
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	165,523	166,513	△ 990	△ 0.6
駅元町地区市街地再開発事業費	1,365,600	440,900	924,700	209.7
介護保険費	61,032,795	58,874,201	2,158,594	3.7
後期高齢者医療費	8,759,808	8,077,560	682,248	8.4
公債費	33,450,899	33,925,343	△ 474,444	△ 1.4
岡山市立総合医療センター病院事業債	1,408,263	2,160,922	△ 752,659	△ 34.8
合 計	193,591,265	193,165,283	425,982	0.2

事業会計

(単位:千円)

会 計 別	28年度当初 A	27年度当初 B	差 引 増 減	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B
病院事業会計	60,587	55,646	4,941	8.9
水道事業会計	24,397,000	23,090,000	1,307,000	5.7
工業用水道事業会計	384,000	295,000	89,000	30.2
市場事業会計	1,005,620	1,013,879	△ 8,259	△ 0.8
下水道事業会計	45,921,918	45,198,738	723,180	1.6
合 計	71,769,125	69,653,263	2,115,862	3.0

予算性質別経費

■ 一般会計

(単位:百万円)

区 分	28年度当初		27年度当初		増減額 A - B	伸び率(%) (A-B)/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
義務的経費	人件費	46,531	16.4	46,252	16.2	279	0.6
	扶助費	80,255	28.2	74,533	26.2	5,722	7.7
	公債費	31,014	10.9	32,581	11.4	△ 1,567	△ 4.8
	計	157,800	55.5	153,366	53.8	4,434	2.9
投資的経費	普通建設事業費	38,481	13.6	47,315	16.6	△ 8,834	△ 18.7
	補助事業費	16,072	5.7	19,747	6.9	△ 3,675	△ 18.6
	単独事業費	20,816	7.3	26,094	9.2	△ 5,278	△ 20.2
	国直轄事業負担金	1,593	0.6	1,474	0.5	119	8.1
	災害復旧事業費	—	—	—	—	0	0.0
	計	38,481	13.6	47,315	16.6	△ 8,834	△ 18.7
その他の経費	物件費	33,109	11.6	33,635	11.8	△ 526	△ 1.6
	維持補修費	4,271	1.5	4,215	1.5	56	1.3
	補助費等	22,214	7.8	18,957	6.7	3,257	17.2
	繰出金	26,109	9.2	24,635	8.6	1,474	6.0
	投資及び出資金	1,826	0.6	2,182	0.8	△ 356	△ 16.3
	その他	514	0.2	501	0.2	13	2.6
計	88,043	30.9	84,125	29.6	3,918	4.7	
合 計	284,324	100.0	284,806	100.0	△ 482	△ 0.2	

■ 普通会計

(単位:百万円)

区 分	28年度当初		27年度当初		増減額 A - B	伸び率(%) (A-B)/B	
	予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)			
義務的経費	人件費	46,531	16.3	46,256	16.0	275	0.6
	扶助費	80,260	28.1	74,538	25.8	5,722	7.7
	公債費	31,986	11.1	33,766	11.7	△ 1,780	△ 5.3
	計	158,777	55.5	154,560	53.5	4,217	2.7
投資的経費	普通建設事業費	37,604	13.2	48,567	16.9	△ 10,963	△ 22.6
	補助事業費	16,073	5.6	19,747	6.9	△ 3,674	△ 18.6
	単独事業費	19,938	7.0	27,346	9.5	△ 7,408	△ 27.1
	国直轄事業負担金	1,593	0.6	1,474	0.5	119	8.1
	災害復旧事業費	—	—	—	—	0	0.0
	計	37,604	13.2	48,567	16.9	△ 10,963	△ 22.6
その他の経費	物件費	33,116	11.6	33,645	11.7	△ 529	△ 1.6
	維持補修費	4,271	1.5	4,215	1.4	56	1.3
	補助費等	22,227	7.8	18,970	6.6	3,257	17.2
	繰出金	26,877	9.4	24,407	8.5	2,470	10.1
	投資及び出資金	1,826	0.6	1,491	0.5	335	22.5
	その他	1,029	0.4	2,596	0.9	△ 1,567	△ 60.4
計	89,346	31.3	85,324	29.6	4,022	4.7	
合 計	285,727	100.0	288,451	100.0	△ 2,724	△ 0.9	

基金及び地方債現在高の状況

■ 基金の状況

(単位:百万円)

区 分	26年度末 残 高	27 年 度 中 見 込		27年度末 残高見込	28 年 度 中 見 込		28年 度 当 初 後 残高見込	(参考) 27年 度 当 初 後 残 高
		積 立 金	取 崩 額		積 立 金	当 初 取 崩 額		
財政調整基金	19,013	5,379	3,910	20,482	72	4,600	15,954	15,226
市債調整基金	1,382	13	—	1,395	17	—	1,412	1,398
公共施設等整備基金	12,802	38	2,000	10,840	50	1,000	9,890	6,844
合 計	33,197	5,430	5,910	32,717	139	5,600	27,256	23,468

(注1) 平成27年度の財政調整基金の積立金には、平成26年度決算剰余金の積み立て5,300百万円を含む。

(注2) 市債調整基金は、満期一括償還地方債の元金償還に係る積立額及び取崩額を除いたもの。

■ 地方債残高の状況

(単位:百万円)

区 分	26年度末 残 高	27 年 度 中 見 込		27年度末 残高見込	28 年 度 中 見 込		28年 度 当 初 後 残高見込
		元 金 償 還 金	借 入 額		元 金 償 還 金	当 初 借 入 額	
一般会計	(164,667)	(20,406)	(27,221)	(171,482)	(18,838)	(17,760)	(170,404)
	288,394	28,721	47,505	307,178	27,475	35,360	315,063
特別会計	19,664	915	1,204	19,953	2,152	1,245	19,046
小 計	308,058	29,636	48,709	327,131	29,627	36,605	334,109
事業会計	258,845	16,654	15,387	257,578	16,769	12,952	253,761
合 計	566,903	46,290	64,096	584,709	46,396	49,557	587,870
(再掲) 普通会計	(177,521)	(20,877)	(28,425)	(185,069)	(19,685)	(18,050)	(183,434)
	301,269	29,198	48,709	320,780	28,291	35,650	328,139

(注1) 「27年度中見込」の「借入額」欄は、平成26年度からの繰越事業分を含む。

(注2) ()内は、臨時財政対策債、減税補てん債等100%交付税算入される起債を除いたもの。

(注3) 元金償還金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く。

